

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第十四回

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

最近ニ於キマシテ漁村ニ於ケル新圓ノ
保有高ハ、相當多額ニ上ルモノト推定
サルノデアリマスガ、中央金庫ヘノ
預金ノ狀況ハドウ云フ思ヒマシテ居リ
マスカ、御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○石川政府委員 三月二日ノ金融封鎖
ガアリマシテ以來、通貨ニ關スル色々
ナ不安ト云フカ、何ト云ヒマスカ、サ
ウ云フヤウナ觀念ニ因ハレタと思ヒマ
スガ、非常ニ手持現金ヲ預金スル傾向
ガ少クナツテ居リマス、併シナガラ三
月三十一日現在ノ中央金庫ノ狀況ヲ見
マス、水産團體トシテ中央金庫ニ預
ケテ居ル金高ハ三千五百二十萬圓バカ
リアルノデアリマス

○坂本委員 更ニ中央金庫カラ漁村方
面ヘノ貸出ハ、ドウ云フ方面ニ、又ド
ウ云フ使途ノ下ニ貸出サレテ居リマス
カ、御尋ネ致シタイと思フノデアリマ
ス、即チ漁村ニ於キマスル現狀ヲ考ヘ
テ見マス場合、戰時中ニ於キマスル微
用船ノ關係ニ於キマシテ、多大ノ犠牲
ヲ拂ツテ來テ居ルノデアリマス、所ガ
國庫ノ補償モ打切ラレマシテ、其ノ代
船トシテ新造計畫ヲ立テルニ致シマシ
テモ、資金面ノ行詰リノ爲ニ其ノ計畫
ヲ推進ガ出來ナイト云フノガ實情デゴ
ザイマス、資本家漁業ノ方ハ其ノ潤澤
ヲ資本ニ物ヲ言ハセマシテ、著々計畫
ヲ實行致シテ居リマスガ、沿岸漁業者
ノ方ハ是等ノ資金難ノ爲ニ一向拂ツテ
居リマセス、此ノ點ニ付キマシテ、
業界ニ於キマシテ色々問題ガアルト
存ジマスルガ、今日ニ於ケル食糧問題
ノ一翼トシマシテノ水産業ト云フ立場

カラ見マスナラバ、急速ニ何等カノ方
法ヲ講ズベキモノデハナイカ、特ニ資
金ノ面ニ付キマシテハ十分御考慮ヲ願
フテ然ルベキモノデ、斯様ニ考ヘテ居
ルノデアリマスガ、之ニ對スル御考ヘ
ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
現在中央金庫カラ水産關係方面ニ貸出
シテ居リマス金額ハ約一億八千九百萬
圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、ソレハ
中央水産業會ヲ通ジ、或ハ道府縣水産
業會ヲ通ジテヤツテ居リマスガ、内容
ト致シマシテハ主トシテ漁業ノ仕込資
金トシテ、例ヘバ、網ヲ買ツタリ、中
ニハ小サナ漁船ノ建造モ入ツテ居リマ
スガ、主トシテサウ云フ漁業ノ仕込資
金トシテ貸出シテ居ルノデアリマス、
尙ホ沿岸漁業ノ復興ノ爲ニ金ガ要ル
ト云フコトハ、我々モ十分了解シテ居
ルノデアリマシテ、ソレハ水産當局トモ
十分相談致シマシテ、沿岸漁業ノ助成
ノ一環トシテ考慮致シテ行キタイト考
ヘテ居リマス

○坂本委員 全國ノ漁村方面ノ貯金高
ガ非常ニ小イト云フコトハ非常ニ遺憾
存ジマスルガ、併シナガラ此ノ漁村
方面ノ新圓保有高ガ相當多イデラウト
云フ豫測ノ下ニ、是非一ツ新圓ヲ吸收
スル必要カラ預金ノ獎勵ヲスベキダト
考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシ
テ、先ヅ、ナゼ漁村方面ノ人ガ預金ヲ
シナイノカト云フコトニ付キマシテ
ハ、今御話モアリマシタヤウニ、通貨
ニ對スル不安ト云フコトモ可ナリ大キ
ナ原因デアラウト存ジマスルガ、更ニ

又掘下ゲテ考ヘテ見マスルト、預金ヲ
致シマシタモノガ、必要ガアツテ引出
サウト致シマシテモ、色々ナ制限ヲ制
肘ヲ受ケルト云フコトノ爲ニ、比較的
單純ナ考ヘ方ヲシテ居リマスル漁村ノ
方々ハ、其ノ煩ニ堪ヘナイイデアリマ
シテ、寧ロ「イージョー・ボーイング」ニ
一應行カウト云フコトニナルノデラウ
ト思ヒマス、少クとも預金ヲサセルモ
トハ預金ヲサセ、又貸出ス時ハ活撥ニ
貸出スト云フ考ヘ方ノ方が妥當デラウ
ト思フノデアリマスガ、此ノ預金ノ吸
收ト貸出ノ方針トノ睨ミ合ハセニ付
テ、一ツ御考ヘヲ承ツテ置キタイト存
ジマス

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
漁村ノ貯金ノ少イ原因ハ、只今仰セ
ナリマシタ通りダと思ヒマスガ、更ニ
我々ノ方トシマシテハ、農業團體ハ非
常ニ古イ歴史ヲ持ツテ居リマシテ一系
統金融機關ノ理解ガ十分ニアルノデア
リマスガ、併シナガラ漁業會トカ或ハ
水産業會ニ於キマシテハ、貯金ヲ取扱
フタ歴史ガ極メテ新シイノデアリマ
ス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシ
テ、一般漁民ノ系統機關ニ對スル理解
ハ、農業會方面ニ比較シテ徹底シテ居
ナイノデアリカト云フ氣ガスルノデ
アリマス、サウ云フ關係ヲ考慮致シマ
シテ、我々ノ方トシマシテハ、出來ル
デケルガ普及徹底ニ努力致シテ居ルノ
デアリマス、尙ホ自由新圓ニ付キマシ
テハ、是ハ何等對鎖ガゴザイマセモノ
デ、預ケタ預金ハ何時デモ其ノ儘必要
ナ時ニ取レルノデアリマス、其ノ他對

鎖預金ニ付キマシテハ、我々ノ方ト致
シマシテハ、出來ル限りノ便宜ヲ大藏
省ト相談シテ與ヘテ居ルノデアリマシ
テ、此ノ趣旨ガ十分徹底シナイ爲ニ預
金ノ集マリガ惡イト考ヘテ居ルノデア
リマス、今同系統機關ヲ通ジマシテ各
地方ニ色々ナ宣傳、講演ヲ行ヒマシテ、
十分ニ系統金融機關ノ活用ヲ圖リタイ
ト考ヘテ、現在計畫致シテ居ルノデア
リマス

○坂本委員 色々ナ施策ガ新圓吸收ノ
爲ニ行ハレテ居ルト思ヒマスガ、例ヘ
バ割増金付ノ公債デアリマスガ、又ハ
ハ特種貯金ノ制定ト云フコトモ考ヘテ
宜イノデアリカト思ヒマス、之ニ對
スル御考ヘヲ承リタイ

○石川政府委員 漁村ノ貯金吸收ニ付
キマシテハ、今御説ノヤウナコトガ非
常ニ有效ダト思ヒマスガ、其ノ他我々
ノ方デモ色々考ヘテ居リマスカラ、其
ノ際十分之ヲ御參考ニ致シマシテ、能
ク研究シテ行キタイと思ヒマス

○坂本委員 今回ノ改正案ニ依リマス
ト、食糧營團其ノ他農林水産業ニ關シ
マスル事業ヲ營ム法人ニ、長期貸付ノ
途ヲ開クコトトナツタノデアリマシ
テ、是ハ泊ニ時宜ニ適スル改正デア
ルと思ヒ致シマス、唯農林水産業ニ關
スル事業ト云フコトデゴザイマスルガ、
私ハ専ラ水産業ニ關シマシテ之ヲ最モ
廣義ニ解釋ヲ致シマシテ、先程御話ガ
アリマシタヤウナ漁船建造ノ資金デア
リマスルカ、漁業用資材ノ仕込資金
デアリマスルカ云フモノニ融通サレ
ルコトハ勿論、更ニ水産加工工業ノ方面

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

付託議案 審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十二年八月二十八日(水曜日)午
前十時三十一分開議

出席委員

委員長

委員

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

即ち各種ノ水産加工業、例へば罐詰ノ製造業アリマスルトカ、魚粉ノ製造デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノヲ一切含メルモノト考ヘルノデアリマスガ、御所見ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○石川政府委員 第十五條ノ農林水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ノ關係ハ、仰セノ如ク廣ク解釋シテ、出來ルダケ時宜ノ措置ヲ執ツテ行キタイト思ヒマス

○坂本委員 更に此ノ問題ニ關聯シテ、最近從來ノ官制統制ニ依ル所ノ統制機關乃至統制會社ガ一應解散ヲ致シマシテ、性格ヲ變ヘタ自治的ノ統制機關ニ切替ヘラレツ、アル現狀デゴサイマスルガ、此ノ場合生産ニ關係ヲ致シマスル是等ノ機關トシテハ、直チニ今性格ヲ變更致シタ爲ニ農林中央金庫トノ關係ガ若シ變更ガアルト云フコトニナリマスルト、至大ナ關係ガアルト思フノデアリマスルガ、之ニ對スル貸付ノ取扱方ニ對スル御方針ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○石川政府委員 御答ヘ致シマス、此ノ統制會社ガ事務會社ニ轉換致シマシタ場合ニハ、御承知ノヤウニ是等ノ持ツテ居リマスル權利義務ハ包括的ニ移轉スルノデゴザイマス、隨ヒマシテ我我ト致シマシテハ、中央金庫トノ關係ニ於キマシテモ、ヤハリ其ノ線ニ沿フテ斷切ラズニヤツテ行キタイト考ヘルノデゴザイマス

○坂本委員 更に此ノ中央金庫ガ斯様ナ長期貸付ヲ開始致スニ付テハ、既存ノ銀行關係ト云フコトトモ能ク調和ヲ執リマシテ、遺漏ナキヤウニヤツテ實ヒタイト思フノデアリマス、徒ラニ競争スルト云フヤウナコトガアツテハ面白

クナイト思フノデアリマスガ、是等ニ對スル當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石川政府委員 此ノ點ニ關シマシテハ、十分大藏省ト相談ヲシテ居ルノデゴザイマス、前ニモ申上ゲタト思ヒマスガ、中央金庫ノ今回ノ改正措置ハ、現在色々市中銀行デアリマスルトカ、或ハ特殊銀行ニ於キマシテモ、中々資金ガ思フヤウニ運轉ガ出來ナイト云フ實態ニ即シマシテ、ドウシテモ、資金ノ比較的豊富デアル所ノ中央金庫ノ資金ヲ利用シタイト云フ希望ガ、業界各方面ニ出テ居ルノデゴザイマス、然ルニ現在ノ法制上ニ於キマシテハ、其ノ貸出ノ手續ニ於テ極メテ拘束サレテ居リマスノデ、此ノ際途ヲ開イテ、他ノ金融機關ノ足ラザル所ヲ補ツテ、日本再建ノ爲ニ協力シタイト云フ考ヘノ下ニ出來タノデアリマス、隨ヒマシテ他ノ金融機關ガ十分ニ此ノ業界ノ方ノ要求ニ應ヘルヤウナ場合ニ於キマシテハ、中央金庫トシテハ決シテ之ヲ競争シテ貸出スコトナク、寧ろ之ヲ補充的ニ利用シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂本委員 時間ノ關係モアリマスノデ、私ノ質問ハ打切りマス

○馬越委員長代理 ソレデハ小坂善太郎君、昨日ノ御質問ノ續キヲ願ヒマス

○小坂委員 昨日ニ引續キマシテ質問ヲ致シマス、實ハ昨日色々質問ヲ續ケタノデアリマスガ、山羊ノ増殖ニ何カ特別ノ手ヲ打ツベキデハナイカト云フ意味ノ御質問ヲ申上ゲマシタ所、特別ノ手ト云ツテ別ニナイガ、普及獎勵スル考ヘデアルト云フ御答ヘデゴザイマシタ、私實ハサウ云フコトヲ申上ゲ

マスノハ、農林中央金庫ノ貸出ガ兎角配給面ノ操作ノ爲ニ使ハレテ居ル、實際生産ニ直接影響アルト云フカ、民生ニ直接ニ影響ヲ持ツテ來ルヤウナ方面ニ比較的金ノ流れ方ガ少イ、一見詰ラヌヤウナコトデモ、今後斯ウ云フコトヲ取上ゲテドシ、ヤツテ藏クコトガ、中金ト云フモノヲ大衆ノモノニシテ行ク意味カラ非常ニ望マシイノデハナイカト思ヒマシテ、左様ナ質問ヲ致シタ譯デアリマス

此ノ山羊ノ問題ハ、農業經營ノ多角化シテ行ク手始めト云フ誤解ガアルカモ知レマセス、既ニヤツテ居ラレルト思ヒマスケレドモ、是ナド今ノ農村デハ非常ニ恰好ナ手ヲ著ケルベキ問題デハナイカト思ヒマス、都市ノ我々トシテモ、穀物ノ要ラナイ山羊ニ依ツテ、今飢エテ居ル赤ん坊、或ハ困ツテ居ル母親ガドノ位救ハレカ分リマセス、ソノデ是非此ノ山羊ヲ普及スル團體ヲ作り、之ニ對シテ農林中央金庫ノ金ヲ十分ニ活用シテ藏キタイト考ヘテ居リマスノデ、明日カラデモ一ツ具體的ナ行動ヲ起スト云フヤウナ、力強い宣言ヲ藏キタイト思フノデアリマス

○補見政府委員 小坂サンノ只今御述ベニナリマシタ、山羊ノ問題デアリマスガ、實ハ最近各地方ニ於テ生活改善、特に農村ニ於ケル榮養改善ノ觀點、就ニ一面ニ於テ飼料事情ノ非常ニ窮乏シテ居リマス現狀カラ、飼料的ニ見テモ最モ飼ヒ易イ、而モ一面榮養ノ高イ山羊ノ普及ト云フコトニ付テハ、各地方デ非常ニ熱心ニ取テラレテ居ル問題デアリマス、ゴデソレ等ノ方々カラ、時ニ觸レテ私共ニモサウ云フ問題ヲ持込マレルノデアリマスガ、其ノ場合、

昨日農政局長カラ御答ヘシタト思ヒマスガ、實ハ畜養關係デ種ノ御世話ヲシタリ、其ノ他飼育上ノ色々御世話ヲスルコトニシテ居リマスガ、何分ニモ手ガ廻リナシテ十分デナイト思ヒマス、併シ方角ト致シマシテハ、只今申シテモ極メテ有效ナコトデアリマス、特に農村ニ於テハ、食生活ノ上ニ於テ穀粉質ノ食糧ハ多イノデアリマスガ、併シ蛋白質或ハ脂肪源ガ特ニ缺乏シ勝チナ折デアリマスカラ、全體ノ食生活ノ改善ハ勿論、更に其ノ一部デアリ農村ニ於ケル食生活ノ改善ノ觀點カラシテモ、特に此ノ問題ハ私共力ヲ入レテ参リタイト考ヘルノデアリマス、隨テ農村ニ於キマシテ、山羊ノ購入資金トカ色々ノ問題ガゴザイマスレバ、私共モ出來ルダケ之ニ御援助致シタイト思ヒマスルシ、更に全般的ノ問題トシテ、農林中央金庫ノ資金ヲ從來配給部面或ハ他ノ有價證券等ニ振向ケテ居リマシタモノヲ、本來ノ農村金融機關トシテノ使命ヲ果シ、更に其ノ根本デアル再生産的ナ生産方面ニ、或ハ農家ノ生産致シマシタ物ノ加工方面、更に經營改善ナリ今後ノ生産改善、斯ウ云フ方面ニ主力ヲ注イデ参ルト云フ御意見ニ對シマシテハ、私共モ全く同感デアリマシテ、是非サウ云フ方向ニ振向ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小坂委員 只今非常ニ御熱誠ノアル御話ヲ承リマシテ安心致シマシタ、是非其實現性ノアル計畫ヲ御立デニナリマシテ、一ツノ問題デモ宜イ、小サイコトノヤウデスガ、此ノコトヲ高ク旗幟ヲ掲ゲテ實現シテ置キタイ、尙ホ資金ノ運用ヲ再生産方面ニ向ケテ行クコ

トニ付テ、今マデノ行キ方ノ配給面ニ出シタコトヲ御認メニナリマシタ點、又今後大イニ有效ニ活用シタイト云フ點ニ付テハ敬意ヲ表シマス

更に關聯シテ一點御伺ヒシテ置キマスガ、最近農藥ノ不足ガ非常ニ甚ダシイ、農家生産物ノ増産ト云ハ直チニ肥料ト申シマスガ、農藥ノ不足ノ爲ニ非常ニ減産ニナツテ居ル實例ガ多イノデアリマス、此ノ貸付先一覽表ヲ拜見致シマス、全國製藥株式會社ニ對シテ百萬圓ヲ貸シテ居リマス、私ハ此ノ製藥會社ト云フモノガ非常ニ利潤ノ多イ産業デアツテ、短期ノ融通資金ニサウ困ラナイモノデアルト云フヤウナコトモ承知ハ致シテ居ルノデアリマスガ、是非此ノ製藥方面ニモツト思ヒ切ツテ投資ヲナサツテ置キタイラドウカ、ト云フコトハ投資額ガ多クテモ是非非常ニ回轉率ノ早イ仕事デアリマスカラ、決シテ不良ニナル心配ハ、運用ノ管理サヘ十分ニシテ居レバナイノデハナイカ、斯ウ思フカラ、是非共農藥増産ノ爲ニ特別ノ工夫ヲシテ、中金ノ金ヲ此ノ方面ニモ有效ニ利用シテ置キタイ、斯ウ考ヘマス

○石川政府委員 農藥關係ニ付キマシテハ、御説ノ通り非常ニ重大ナ影響ヲ持ツノデゴザイマスカラ、農林省ト致シマシテモ一ツノ計畫ヲ立デマシテ、戰前ノ水準ニ早ク達スベク努力シテ居ルノデアリマス、現在中央金庫ト致シマシテハ、東亞製藥株式會社、全國製藥株式會社ト二社ニ、仰シヤルヤウニ百八十萬圓程度ノモノヲ貸シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ今後ノ農藥ノ生産過程ガ活潑ニナリマシテ、更に資金ガ要ルト云フヤウナコトデアリマスレバ、十分考慮致シタイ、斯ウ考ヘマス

○小坂委員 以上私ハ此ノ中金ノ改正法律案ノ上程ヲ見マシタ機會ニ、色々ト私ノ考ヘヲ申上ゲテ、資金ノ運用ニ付テノ要望ヲ致シタ譯デアリマス、結論トシテ申上ゲマス、先ツ第一、今モ御話ノ中ニ出テ御答辯ヲ伺ツタノデアリマスガ、是非共生産面ニ多ク投資ヲスルヤウ願ヒタイ、又サウ云フ投資ヲスル以上、所謂貸付業務ト云フモノガ非常ニ複雑多岐ニナツテ参リマスカラ、其ノ貸付ノ窓口等ニ付テ十分ニ改善ノ御考慮ヲ願ヒタイト云フ點、ソレカラ第二點ハ、只今問題ニナツテ居リマス肥料會社ヘノ貸付デアリマスカ、是モ貸付ニ付テハ十分ノ御注意ヲ以テセラレタイ、苟モ不良ナモノヲ生ゼザルヤウ御注意ヲ願ヒタイ、第三點ト致シマシテ、農林組合中央金庫ト云フモノハ緊要資金ヲ貸出ス、或ハ他ノ一般金融機關ガ困ツテ居ル面ヲ補フ爲ニ出動スルモノデ、決シテ一般ノ金融機關ト雖合スルヤウナ、本來ノ金融機關トシテノ役目ヲ持ツモノデナイ、斯ウ云フ根本のナ點點ヲハツキリシテ貰ヒタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○馬越委員長代理 北政清君 ○北政委員 第一ニ中金ノ民主化ヲ實際ニ行フハナイカ、現在私ノ要求シマシタ表ニ依ツテモ御覽ノ通り、理事長初メ理事ノ全部ガ殆ド所屬組合トハ關係ノナイ人ハバリデアル、ソレデアリマスカラ、中金ノ事務其ノモノガ全ク官僚化シテシマツテ居ル、總テノ事務ガ極メテ複雜怪奇ヲ極メテ居リマシテ、所屬聯合會アタリガ責任ヲ以テ調査ヲヤリマシテモ、更ニ調査ヲヤル、到ル所ニ中金ノ出張所ヲ出シテヤツテ居ルト云フヤウナ行キ方ニナ

ツテ居ル、其ノ經營ノ負擔ハ中々大キイモノデアリマシテ、恐ラク農民ニ對シテハ寄生蟲ノ如キモノデアリマス、斯様ニ思フノデアリマス、其ノ上ニ役員ハ全ク民主化シテ居ラス、政府ガ三千萬圓ノコノ出資シテ居ルガ故ニ全部政府任命デアル、之ヲ根本の二直ス肚ハナイカ、又今日民主主義「ボツダム」宣言ニ於テ我々ハ要求サレテ居ル以上、眞ニ民主化シテ行クコトガ本當デアリナイカ、此處ダケハ別モノドト云フ理由ハ何ニモナイノデアリナイカ、而モ此ノ名前ヲ御覽ニナツテモ、所謂金融業者ヲ以テ理事ニ集メテ居ルノデアリマシテ、所屬團體ノ經營ニ關係シタ人ハ一人モ居ナイ、ソレデアリマスカラ、所屬團體ノ本當ノ實情ヲ見抜キ得ナイ、隨テ資金ノ貸付ナドニ付テモ、大臣ヤ、監督官廳ノ認可トカ色々ノコトガアリマス、コ、ニ現ハレマシタ軍需補償ノ損害ニ付テモ、餘リ關係ガナイ、サウ云フコトニ關係ガアルノハ少イナドト云ツテ居リマスガ、借テ各メノ會社ガ受ケル軍需補償ノ損害ト云フモノハ、實ハ莫大ナモノデアリマス、ソレガ爲ニ支拂能力ノナイモノガアルト私ハ確信スル、ソレヲ以テスラ差支ヘナイノダト云フ、在外資產ニ付テモ八億八千萬圓、出資額ノ總額スラ皆喰込デシマフ、出資ノ元金ガナイ、斯ウ云フヤウニ本當ノ農村金融、農業金融ノ本旨ヲ離レタ金融業者ニ依ツテヤルト云フヤウナコト、若シカハ官吏ノ古手ノ投ゲ場所、仕方ガナイカラ中金ノ理事ニ持ツテ行ク、誠リナラ中金ノ理事ニヤル、荷見サンガ辭メル、サウスレバ中金ニ持ツテ行ク、斯ウ云フコトバカリヤツテ居リマシテ、本當ノ農民金融ノ本質ニ一ツモ副ハヌ、之ヲ思

切ツテ直ス肚ハナイカト云フコトガ、先ツ第一ニ職キタイト思フノデアリマス ○石川政府委員 中央金庫ノ運営及ビ組織ノ民主化ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、中央金庫ニ於テハ御手許ニ差出シテ居リマスヤウニ、現在ノ法制上ニ於テモ出來ルダケ下級組合トノ連繫ヲ取リタイト云フ意味合カラシマシテ、全農、中央水産ト云フヤウナ方ニ指示ヲシテ戴イテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ我々ト致シマシテハ、日本ノ經濟ノ民主化ノ線ニ沿ヒマシテ、ドウモ中央金庫ニ付キマシテハ全面的ニ改正ヲ要スル必要ガアリマスノデ、其際ニ於テ十分考慮シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラヤハリ一ツノ金融ノ源轉テゴザイマスノデ、ドウシテモ技術の二考ヘマシテ、相當金融ノ技術者ト云フカ、經驗者ト申シマスカ、サウ云フ方モ組合外カラ入レナケレバイカヌノデアリナイカト思ツテ居リマスガ、全面的ニハ民主化シタイト思ツテ居ル次第デアリマス

○北政委員 只今ノ中央金庫法ノ全部ヲ思ツテ改正スル肚ガアルト云フ御説ヲ私ハ信賴スルモノデアリマス、是非共是ハ急イデヤツテ戴キタイ、而モソレガ本當ニ面倒デ云フヤウナ御話ガアリマスガ、ソレハ言ヒ通レデアル、是ハ選舉スレバ何時デモ出來ル一週間ノ中ニデモ立派ナ人ガ出ル、又金融ノ專門家ヲ入レナケレバナラヌト云フガ、ソレハ職員ニ立派ナ給與ヲヤナバ宜イ、何ボデモアルガ、又サウデナク、地方關係團體ニ立派ナ金融ヲ實際ニヤツテ居ル人ガナイ、ソコデ今デモ全國農業會長デアルトカ、全國水産會長デアルトカ、是ハ大體役デ當然デア

ルケレドモ、其ノ後デハタツタ川名君一人、是非非常勤ノ監事デアリマス、監事ナドヲヤツテ居ル者デハ實際バドウニモナラヌノデス、本當ノ技術者ト云フモノハ、皆役員ト職員ダケデアリマス、是ハ全部當然選舉ニ依ツテ變ヘルト云フコトヲ斷言シテ戴キタイノデアリマス、ソレガナラヌ以上、中金ノ貸付ニ付テモ、現在ノ御提案ノモノモ中々危イ、實行上非常ニ困ル、先ツ其ノ一ツヲ舉ゲテ見マス、餘裕金ノ運用ニ付テデアリマスガ、是全般ノ農業者、若シハ農業關係者ノ極メテ零細ナ、血ト汗デ出來タ金ヲ集メテ居ル、今本當ノ肚ハ、肥料會社ヘ出サウト云フ、肥料ハ農業ニ關係アルデヤナイカト云フ、斯ウ云フ關係ガアリサヘスレバ出サナケレバナラヌガ、是ハ所謂資本家ノ仕事デ、財閥ガヤツテ居ルモノデア

ル、而モ肥料會社ノ大半ハ今度ノ所謂解消ノ命セラレテ居リマス、此ノ財閥ノ融資ト云フモノハ莫大ナモノナノデスガ、是ガドウ轉換シテ行カ、今直チニ融資シテ宜イモノカ惡イモノカ、私共ハコンナ融資ヲシナケレバナラヌ程肥料ノ増産ニ必要デアルナラバ、融資ニアラズシテ、全部ノ農業者ヲシテ此ノ出資ヲ増額サセルナリ、之ニ參加サセタラドウカ、現在ノ肥料會社ノ大部分ハ、借入ノ最高限度ヲ皆越シテ居ル、借リラレナイ管デアル、現在ノ肥料ガタツタ五億圓ト云フノデアリガ、本當ニヤル氣ナラ五十億圓デモ絕對ニ出來マセヌ、五十億圓入レナケレバ日本ノ肥料ハ殖エマセヌ、道具ガナイ、其ノ機械設備ヲシマスノニ、五十億ハ絕對要ルノダ、ソレニコソナ生殺イ、僅カバカリノモノヲ入レテ、ソレモ財閥ヘノ融通デアル、農林金庫ハ自己ノ

所屬スル組合、所屬スル團體以外ニ斷ジテ資金ヲ出スベキデナイ、昨日カラ各種ノ委員ノ方ノ御質問ニ對シマシテ、皆何トカ金ノ餘ツテ來ルモノハ中金バカリデ、他ノ銀行ト競争センカ、ソレヲ抑ヘロウト云フ御質問、ソレニ對シテ今臨時の、補助的デアルト云フ御答辯デアル、一體ナゼソナ必要ガアル、中金ノ本旨ヲ忘レテ居ラレマセヌカ、他ノ所ニ使フベキモノデナイ、自ラノ組織、自ラノ金ニ使フベキデアル、今ノ日本ガ、今度ノ農地改革ヲ行ヒマス、非常ニ細微化シテ來マス、此ノ細微化シタモノヲドウシテ農業經營ヲ立シテ行クカト云フナラバ、是ハ農村ヲ工業化シナケレバイケマセヌ、農業ノ工業化デアリマス、之ヲヤラウトスレバ莫大ナ金ガ要ル、二百億アツタツテ足リナイ、三百億アツタツテ足リナイ、所ガ今ノ財閥ニ貸ス、若シ其ノ必要ナラバ、大藏省ハ他ノ興業銀行ナリ何ナリニ命ズレバ宜シ、ソナナ方ニ中金カラ持ツテ行クコトハ、其ノ考ヘ方ノ基礎ニ違ヒガアル、私ハ本當ニ之ヲ自主的ナ團體、本當ノ民主化サレタ團體ニスルニハ、ヤハリ自分ノモノハ自分デ片ヲ付ケルコトニサセルノガ本當デアル、財閥ガヤツテ居ルモノハ財閥ニヤラセル、ソレデナケレバ農民ニ出資ヲサセル、單位組合ニ出資ヲサセル、ソレニ對シテ融通スレバ宜イ、ソレナラ五億ガ五十億デモ出來ルシ、完全ニ肥料ガ出來ル、ソレニ肥料會社ト云フ財閥ニ貸シ、而モ今ニ解體サレタナクナルカドウカ分ラヌト云フヤウナモノニヤル、斯ウ云フ御提案ハ中金ノ本旨ヲ全ク壞シタ、金融業者ニシヨウトスル形ガ十分ニアル、之ニ對スル當局ノ御意見ヲハツキリト

第六類第六號 食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會議錄 第十四回 昭和二十一年八月二十八日

一七

承ツテ置キタイノデアリマス
○補見政府委員 北サシノ只今ノ御意見並ニ御尋ネデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、一昨口カラ續々申上ガテ居リマシヤウニ、農林中央金庫ハ綜合金融機關ノ系統機關トシテ存在シテ居ルノデアリマシテ、隨テ本來綜合金融機關ノ使命達成爲ニ、組合員ノ金融ニ先ツ最重點ヲ置クベキコトハ、異論ノナイ所デアリマスルシ、又續々申上デマシタ通りデアリマス、唯現在ノ狀況ニ於キマシテ、綜合金融機關トシテ組合員カラノ資金需要ニ對シマシテハ、殆ド之ヲ充スダケノ融通ヲシテ居ルノデアリマス、例ヘバ農業關係ノ資金融通ニ致シマシテモ、貸付金ノ伸ビ工合ト云フモノハ、五、六年乃至七、八年ハ動イテ居ラナイノデアリマス、計畫ガ健全デアリ、又不純ナコトガナク、合理的ナ計畫ニ對シテ、資金ノ融通ヲ阻止シタト云フヤウナ事例ハ一切ナイト私ハ承知シテ居リマス、又先程モ御話ガ出マシタガ、水産關係ニ付テ見マシテモ、其ノ預ケ金ハ三千五百萬圓程度デアリマスガ、併シ他ノ農業關係ノ部面カラノ金ヲ以テマシテ、約一億九千萬圓ノ貸出ラシテ居ル、斯ウ云フ風ニ水産自體ノ内郭ノミナラズ、廣ク含メタ農林水産全體ノ綜合金融機關トシテ、十分其ノ役目ヲ果シテ居ル、而モ今後ハ其ノ方面ノ生産ノ伸ビテ來ル、或ハ經營改善ニ色々ノ資金需要ガ多クナツテ參ルデアリマセウカラ、此ノ方面ニ力ヲ注イデ居ルト云フコトモ、豫テ申上ゲタ通りデアリマス、現在ノ肥料資金ニ付テ色々御意見モゴザイマシタガ、本筋ハ先程申上ゲタ通りデアリマシテ、偶々存シテ居リマス餘裕金ヲドウ云フ風ニ運用スルカト云

フコトハ、現在問題ニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ運用ヲハルニ當リマシテハ、之ヲ農林水産業ニ密接ナ關係ノアル部門ニ、先ツ向ケテ行カウト云フコトデアリマシテ、農林水産業以外ノ部門ニ對スル金融ヲ以テ、農林中央金庫ノ、又農林金融ノ最大ノ使命ニスルト云フヤウナコトハ、毛頭ナイコトデゴザイマスルシ、其ノ點ハ十分御理解ノ上デノ御尋ネト思ヒマスガ、尙ホ蛇足デハゴザイマシタガ、此ノ點ヲ附加ヘテ申上ゲテ置ク次第デアリマス
○北政委員 今次官ノ言ハレハルヤウニ、農村ヘノ融通方面ハ相當フルニ行ツテ居ルノデアリガ、是ガ農村デ出來ル仕事ヲ全部營業者ガ取ツテシマツテ、所謂各種ノ統制會デ取ツテ、事業ヲアレナク致シテ居ルノデアリマス、又企業許可令ニ於テモサセハイコトニシテヤツテ居ルノデアリマシテ、本當ニ農村ノ必要ナ、要望スルモノ、之ヲヤラセナイデ居ルカラ、金ノ使ヒヤウナクシテシマフ、例ヘバ水産業ニ致シマシテモ、私ハ斯ウ思フ、ナゼアノ船舶底曳ヲ沿岸漁民ト合ハシテ、血眼ニナツテ争ツテ居ルカ、之ヲ沿岸ノ漁民ノ協同組合ニシテ、アノ船舶底曳ヲ持ツナラバ、決シテ弊害ガナイ、禁止區域ニ入ルト云フコトモナイ、ソレヲ折角ノ難魚ヲ獲ツテシマフカラ、日本ノ魚ハ根コソギニナツテシマフムデアリマシテ、若シ是ガ自分等ノ協同組織デアラナラバ、絕對ニ妨害ニナル所ヘハ入ラナイ、アノ海上デドノ線カラドノ線マデト境界ラシテモ、川一本ナシ、木柵ガ入ル譯デモナイ、之ノ取締ニ莫大ナ金ヲ掛ケテ居ルガ、取締ハチツトモナツテ居ラス、此ノ船舶底曳ヲ漁業協同組合ニヤラセルト云フコ

トニスレバ、五十億ヤ百億ハ直グ要ル、普通漁業者ノヤルモノハ遠洋ノモノニヤラセル、沿岸ニ付テハ協同組合デヤラセナイ、凡ニ什事ヲ全部農村ノモノヲ縛リ付ケテシマツテ金ノ動力シ方ガナイ、ガカラ財閥ニデモ貸付ケタイト云フ、理由ニハ全クナラヌト思フ、之ニ對シマシテ一體改官ハドウ云フ御老ヘヲ持ツテ居ラレバ、唯此處デ理解ヲ付ケルノデナクテ、一ツ本當ニ新鮮ナ魚ヲアル、又本當ニ漁場ヲ壊サセナイ、斯ウ云フ眞劍ナ肚ガアリマスラナラバ、今ノヤウナ制度ヲ變ヘレバ、資金融通ノ途ハ一杯アルノデアリマス、何モアツテモ足ラナイ、詰リ官僚化セル役員ニハサウ云フ肚ガ出來テ來ナイ、私ハ今ノ各種ノ仕事、農村ニ於テモ色々ナ工業ガ澤山アリマス、例ヘバ皮革ニシテモ、何ニシテモ、現在革ノ不足デ嘆シイ時、北海道デハ皆皆ゲテシマツテ居ル、殺セバ直グ埋メテシマフ、革ハ資本家ガタツタ十圓ニシカ買ツテ行カナイ、ガカラ皆使ヘルモノヲ捨テテシマツテ居ル、之ヲ農村ノ協同組合ニヤラセレバ、其ノ設備ニ資金ヲ融通スレバ何モ行ケル、或ハアノ世界ノニシテ、スイズル「アタリ」ノ時計デモ、アノ精密ナ機械ハ全部農村デ出來テ居ル、斯様ナ譯デ、農村ニ人間ヲウツト入レテ、食糧ノ安定感ヲ與ヘテ、日本國民ノ生活カスニハ、ドウシテモ農村ヲ工業化セネバイカス、今ハ營業者ノ手ヲ抑ヘテ居ル、之ヲ救フノ手段ヲ執ルニハ何ボデモ資金ガ要ル、之ヲヤラセル肚ガアルカドウカ、今水産局長ガ來テ居ルカラ、是ノ肚ヲハツキリ聽キタイ、ドウシテモハ營業者ノ專門家ニヤラセナケレバイカスノカ、日本人ハ何ボ困

ツテモ宜イノカ、魚ガ何ボ減ツテモ宜イノカ、是ハ解イテ置クバ宜イノデス、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○補見政府委員 先程申上ゲマシタウニ、農林中央金庫組合員ノ爲メ融通機關ガ先ツ第一デアリマス、隨テ組合員ニ對スル資金融通ニ付キマシテハ、我々モ殆ド是ハ手ヲ付ケナイト云フ風ニ致シテ居リマシテ、寧ロ員外ニ出シマスル場合、或ハ先程來問題ニナツテ居リマスヤウナ風ニ、他ノ機關ニ出シマシル場合、或ハ有價證券ニ付テノ銘柄ヲ決メル、斯ウ云フコトニ付テ寧ロ制限ノ色々認可ヲ受ケサル、斯ウ云フヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリマシテ、主體ハ飽クマデ協同組合第一主義デアレコドヲ重ネテ御答ヘ申上ゲマス
尙ホ農山漁村ニ於ケマスル今後ノ經營形態ノ問題ニ付テノ御意見デアリマスガ、私共モ本來生産ニ付テ色々協同的ノ施設ヲ講ジ、此ノ生産ヲ改善シテ參リ、又加工部門ニ於テ更ニ協同加工ノ方向ニ向ツテ行クト云フコトニ付テハ、兼々サウ云フ方向ガ助長シテ參ツタノデアリマス、今後モサウ云フ方向デ參ルコトニ付テハ變リハナイモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス
○三府府委員 只今船舶底曳其ノ他ノ漁業ヲ協同組合のサモノニヤラシタラドウカト云フヤウナ趣旨ノ御話デゴザイマシタガ、御尤モナ御話デ思フノデアリマス、唯今デノ所デハ、御承知ノ通り、漁業ニハ相當危險ガ伴フモノデアリマスノデ、從來ノヤウナ強制加入のナ、地域の漁業會或ハ漁業組合ト云フヤウナモノニハ、サウ云フ危險ノ伴フ漁業、一般組合員ノ負擔トナルヤウナ漁業ヲヤラセルト云フコ

トハ、相當考慮ノ餘地ガアツタノデアラウト思フノデアリマス、隨テ漁業組合ノ自營ニ付テハ相當ノ制限ヲ加ヘテ居ツタ譯デアリマス、併シ今後水産業團體ヲ根本の、所謂協同組合のナモノニ改組スルト云フコトニナリマシタナラバ、其ノ線ニ沿ツテ、今御話ノヤウナ點モ相當ニ考慮出來ルコトデアラウト思フノデアリマス、唯併シナガラ、漁業ニハ色々ナ附帶條件ガアリマスノデ、サウ云フ協同組合のナモノガ、凡ニ漁業ニ付テ全部働キ得ルカドウカト云フコトハ、是ハ尙ホ色々意見ノ分レル所ガアラウカト思ツテ居リマス
○北政委員 私ハ次官ノ、凡ニ漁業ヲ現在ノ統制ノ形ニ於テ、農村ナラ農村ニ於テヤリ得ナイモノヲ解ク肚ガアルト云フコトノ御返事ヲ聽カナカツタコトヲ遺憾トスルノデスガ、其ノ點ヲ更ニ御伺ヒシマス、又今ノ水産局長ノ話デモ、漁業ニハ特殊ナ何ガアル、ガガ私共ノ考ヘテ居ル協同組合ト云フモノハ本當ノ自由ナ意思デヤルベキモノデアル、其ノ人達ガ自由ニヤリタイト云フナラバ宜イデヤナイカ、何モ心配ハナイ、ソレマデ立入り過ギル必要ハナイデヤナイカ、何モヤレナイモノヲ無理ニ強制シテヤラサウド云フノナラ危險ガアルデセウガ、サウデナイナラバ差支ナイ、殊ニ北海道ノ漁業ナドハ水産ノ大キナモノデアリマスガ、此ノ權利ト云フモノハ漁業協同組合ニ與ヘラレナイ、全部營業利會社ニ未ダニ居リマスカラ、沿岸漁民ハ經濟のニ關係ノナイ、一ツノ奉公人ノ形ニナツテ居リマス、是デハ漁業ト云フモノハドウシテモ與ラス、私ハ斯様ナ意味合ニ於テ、速カニ自由意思ノ協同組合ニ

サセテ、サウシテヤルモノヲヤラセ
ル、特殊ノ者ノ特權ニサセテ置カ
ナ、現在ハ漁業ノ大部分ノ權利ハ皆ナ
特權家ノ特權ニナツテシマツテ居ル、
シカモ彼等ハ儲カレバヤルガ、儲カラ
ネバヤラヌ、シカモ水産食糧ニ對スル
非常ノ不足ヲ來シテ居ル、ソレガ爲メ
今ノ暴騰價格ニナツテ一本ガ一回ト
カ二圓トカシテ居ル、斯ウ云フ形ガ何
處ニアルカ、本當ニ生産ガ十分ニアレ
バ何モサウ云フコトハナイ筈デア
ル、生産ガ出來ナクシテ居ル、僅力海
苔トカ若布トカ云フ定著シタモノダケ
シカ漁業組合ニ權利ガナイ、其ノ點ニ
誤リガアルト思フ、其ノ點ハ後デ一
ニ御答ヘ願ヒマス

ソコデ第五條ニアリマス法文ニ付テ
御伺ヒシタイノデスガ、『森林組合聯
合會』ノ上ニ『蠶絲業會、蠶絲協同組
合』を加ヘる、蠶絲協同組合ハ當然
過ギル位當然、今マデドウシテ入ッ
テ居ラナクシタカ不思議ダト思ヒマス
ガ、斯ウ云フ蠶絲業會ト云フモノハ、
是ハ經濟團體ト本當ニ見マスガ、之ヲ
會員ニシテ融通スル考ヘガアルカラ之
ヲ會員ニシヨウト云フノデアルカ、之
ヲ本當ノ經濟機關ト認メルコトハ出來
ヌカドウカ、斯ウ云フ點デアリマス、
サウシマス、前ニアリマス日本馬事
會、是ナドハ私ハ當然除カナケレバナ
ラヌト思フ、又近ク斯ウ云フモノハナ
クナルデアリマセウ、置ケナクナルト
思フ

其ノ次ニハ、漁業會其ノモノヲ會費
制度デアリナラバ損失補填ノ途ガナ
イ、損失補填ノ途ガナイモノヲ會員ニ
入レルト云フコトハ、是ハ考ヘモノデ
アラウ、斯ウ思フノデアリマス、今ノ
所此ノ中デ一寸氣ノ付イタモノハソレ

ダケデアリマスガ、蠶絲會ヲ加入サセ
ナケレバナラヌト云フ理由、所謂出資
團體デアリ會員制度ノモノ、損失補填
ノ途ノナイモノ、斯ウ云フモノヲ加入
サセルコトガ善イカ惡イカト云フ問題
デアリマス

次ニ自作農創設維持事業、是ハ農村
金融トシテ大事ナコトデアアルガ、近ク
提出サレマス農地改革ニ依リマシテ、
一體自作農創設維持ニハ餘リ資金ガ要
ラナクナツタ、寧ロ今マデヨリ何ダカ
逆デヤナイカ、今度ハ政府自身ガ全部
御買上ニナル、斯ク致シマス、自作
農創設事業ハ政府ガ直接ヤルヤウニナ
ツテ、土地證券ナリ、何ナリ御出シニ
ナルカラ、此ノ必要ハ全然ナクナル、
私共ハ寧ロ之ヲ措イテ、政府ガ直接買
上デラレルコトガドウカト云フ意見ヲ
持ツテ居ルノデアリマス、今ノ御提
案ノ方針ヲ、前ニ農政局長方カ聽キマ
スト、全部政府買上ニ依ルベキモノデ
アルカラ、此ノ資金ノ必要ハナクナツ
テ來ルノデアリナイカ

次ニ主務大臣ノ指定スル事業ニ必
要ナル資金ヲ融通スル場合、此ノ場
合ニ於キマシテハ一體政府ガ補償スル
ノカセヌカ、政府ガ融通セイト命ジ
テ居ル、ソコデ以テ損害ヲ來シタラド
ウスルカ、今ノ在外資産ニ對スル資金
ノ貸付ニ致シマシテモ、亦軍需補償ノ
損害ニシテモ、政府ガ命ジタモノガア
ルト致シマスナラバ、是ハ當然政府ガ
責任ヲ負フベキダト思フガ、之ヲドウ
スルカ、補償打切りニ付テ損害ハ政府
ガ當然責任ヲ持ツベキモノデアアル、之
ニ對シテ貸付ヲサセタ所ノ損害ハ當然
政府ガ責任ヲ負フベキダ、サウデナケ
レバ農村ノ本當ノ零細ナ資金ヲ財閥ニ
食ヒ潰サセルコトユナル、實ニ重大ナ

第六類第六號 食糧政策指針令(案)を定める件(案)農林省令 第十四號 昭和二十一年八月二十八日

境目ニナルノデアリマスカラ、此ノ點
ヲ承ツテ置キタイノデアリマス
○石川政府委員 第一點ノ御答ヘヲ申
上デマス、蠶絲業會ハ法律ニ示シテア
リマスルヤウニ、蠶絲業ノ指導獎勵デ
アリマス、或ハ蠶絲業ノ連絡調整ト云フヤ
ウ、所謂統制的或ハ指導的仕事ノ外
ニ、生絲、繭ノ買入又ハ賣渡シト云フ
ヤウナ、蠶絲協同組合ト同ジヤウナ仕
事モナシ得ルコトニナツテ居リマス、
サウ云フ意味ニ於キマシテ、ヤハリ相
當資金ガ必要ニナツテ居リマス、
之ニ援助シタイ、斯ウ云フ考ヘデア
リマス、今マデ之ヲ入レナクシタハ、
本年ノ初、新シク改正ニ依ツテ出來タ
ノデアリマス、現在マデノ經過ヲ
見テ居タノデアリマスガ、最近ハ
色々ナ情勢ニ從ツテ、相當ナ資金ヲ必
要トスルト云フヤウナ關係ニナツテ來
リマス

第二點ノ自作農ノ關係デゴザイマス
ガ、是ハ本法律案ヲ提出スル當時ニ於
キマシテハ、當然自作農ニ大キナ重
ヲ置キマシテ老ヘテ居タノデゴザイ
マスガ、併シナガラ自作農創設ノ爲
ニ資金ハ、政府ガ農地證券ヲ發行シテ
ルコトニナリマシタ關係上、現在ハ其
ノ必要ガナクナツタデアリマス、併
シナガラ自作農創設ノ事業ニ付テハ、
土地ノ取得ダケデナク、開墾デアルト
カ、干拓デアルトカ、ソレ等ノ附屬シ
タ色々ナ諸工事が伴フモノト思ツテ居
リマス、隨テソレ等ノ必要ナ金ハヤハ
リ何處カデ融通シナケレバナラヌガ、
融通スルトスレバ、ヤハリ系統團體ノ
中央部デアアル農林中央金庫カラ融通セ
シメタ方ガ宜イノデアリナイカ、一應斯

ウ云フ途ヲ開イテ置ケバ宜イデアリ
カ、斯ウ云フ意味デアリマス、第三番
目ノ主務大臣ノ指定スル必要ナ事業ニ
對スル融資デゴザイマスガ、是ハ融資
命令デハゴザイマス、勝手ニ
ノ事業デモ貸シテ宜イト云ウヤウナ意
味デナク、主務大臣ガ斯ウ云フ種類ノ
事業ナラ宜イト云フ事業ノ指定ヲヤ
ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ、其ノ事
業ニ貸シテ宜イカドウカト云フ點ニ付
キマシテハ、一般ノ貸付ト同ジ考ヘデ
進ム、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○北(政)委員 只今ノ政府ノヤリ方ヲ
見テ居リマス、肥料事業ナラ肥料
事業ニ付テソレヲ決メルノダ、斯ウ言
ハレマスガ、實質ニ於テハドウカ、今
ノ御手製デ排ヘタ役員ニ話ヲサレテヤ
ル、私ハ茲ニ本當ニ民主化サレタ團體
ナラバ、ソノナモノハ御斷リスルト思
フガ、然ルニサウデナイ、若シ政府ノ
言フコトヲ聽カナケレバ自分ガ誠ニナ
リ、何ニナルノガ據ダカラ必ズ聽ク
ソレデハ何ニモナラナイコトダト思
フ、之ニ對シテ政府ノ考ヘ方ガドウモ
ハツキリシナイコトヲ遺憾ニ思フノ
デアリマス、モウ一度諒イヤウデア
リマスガ、御聽キ致シタイ

○補見政府委員 簡單ニ御答ヘ申上
デマス、色々ハ議論ニ互ルコトニナリ、
又見解ノ相違モアラウト思ヒマスガ、
私トシマシテハ、先程申シマスヤウ
ニ、農村ノ經營改善ノ方向ハ豫テ申上
デマシタ通りデアリマスガ、併シ此ノ際
農村ニ關係ナルアルコトハ何デモ之ヲ農
業會デアルト云フ考ヘ方ニ付テハ、更
ニ一考ヲ要スルモノガアラウト思フ
デアリマス、自ラソコニ限度ガ存スル
ト思フデアリマス、先程水産局長カ
ラ漁業ノ危險性ノ問題ニ付テ述ベマシ
タノモノ、ソノ考ヘ方デアラウト思ヒマ

ス、要シマスルニ合理的ノ限度ト云フ
モノヲ以テ進シテ參リタイ、隨テ其ノ
合理的ノ理解出來ル限度ニ於キマシテ
ハ、色々統制機關モ既ニ御承知ノヤウ
ニ改廢ヲ致シタモノモアリマスガ、其
ノ他事業方面ニ付キマシテモ、自ラソ
コニハ限度ト云フモノガ存スベキデハ
ナカラウカ、何デモ彼デモ總テ農業會
デアルト云フコトハ、勿論北サンモ其
ノ立論ノ下ニ御考ヘニナツテ居ルコト
デアリコトハ能ク分ツテ居リマスガ、
私共ト致シマシテモ、其ノ合理的ノ限
度ノ下ニ於テヤツテ行カウ、是ハ動モ
致シマス、農村ハ本來ノ生産方面ニ
對スル、特ニ指導機關トシマシテハ生
産ニ對スル熱意ヨリモ、寧ロ配給デア
リマス、其ノ他ノ方面ニ興味ガ向
キマシテ、本來ノ生産協同體ト云フモノ
ニ對スル熱意ガドウシテモ缺ケル處ガ
アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ弊
害モ、歸スル所ハ何デモ彼デモ限度ヲ
超越シ、限度ヲ無視シテヤルト云フ所
ニ起ツテ來ル問題デアラウト思フノ
デアリマス、自ラ節度ト云フモノガ伴
ハナケレバナラヌト斯クニ考ヘテ居ル
第デアリマス

○北(政)委員 限度ト云フト是ハ手加
減ノ關係デアリマシテ、例ヘバ現在農
村ニ精米機ガウシタル、之ヲ食糧營
團ニヤラセルト動クベキモノガ助カ
ナ、精米機ガ遊ンデ居ル、動力ガ遊
ンデ居ル、例ヘバ農機具ニ致シマシテ
モ、先程米倉サンニ聽クト、長野縣ニ
二萬挺ノ鋸ガ配給サレタ、是ハ一ツノ
鋼ノ板デ、使ヘルモノデヤナイ、斯ウ
云フモノガ若シ農業者ノ團體ニ於テ造
ラレル、或ハ修繕ヲシマスナラ、コン
ナ馬鹿ナモノハ絕對出來ナイ筈、是
ハ營利業者ナラヤル、私共ハ社會黨ノ

諸君が頻りに國有、國營ヲ唱へて居リマスガ、之ニ對シテドウモ農林大臣ノ吐ハ實成ノヤウダケレドモ、外ノ方ノ恩惠デドウト云フ話デアル、一體之ヲ私共ハ率直ニ言ヒマスレバ、國營即チ官營デアル、官營ニナツタラントンデモナイモノニナル、無責任ナモノニナル、官吏ト云フ給料デ食ヘル人ガヤルコトニナルカラ、痛クモ痒クモナイ、必ズサウナル、今ノ農具ノ一例ヲ以テ見テモ實ニハツキリ分ル、肥料ノ如キハ、本當ニ肥料ヲ必要トスル農民自體ニヤラシラドウカ、イヤ技術ガドウノト云フガ、財閥アタリニシテモ何處ニ技術ガアリマスカ、皆技術者ヲ雇ツテ居ル、ソレデ結構ヤレル、斯様ナ意味合ニ於キマシテモ、私共ハ農業資金ト云フモノヲソナ財閥ヘノ貸付方法、斯ウ云フモノニヤラセルコトハ絕對ニナラナイト考へテ居ル、ソレナラ農民ニ出資ヲサセテ資金ノ充實ヲスレバ宜イ、五十億デモ百億デモ宜イ、現在ノ肥料會社ヲ全部農民デ買収シヨウト思ヘバ、ソレモ出來ナイコトハナイ、此ノ中金ノ本質ヲ離レタコトニナツテハイケンナイデハナイカト思フノデスガ、ソレ等ニ對シテノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○楠見政府委員 色々御意見ヲ拜聴シタノデアリマスガ、御意見ノ存スル所ハ能ク拜聴致シテ置キマス、唯先程來申シマスヤウニ、資金融通ノコトハ、是ハ度々申上ゲタノデ繰返シ申上ゲル煩ク避ケタイト思ヒマスガ、飽クマデ餘裕金ノ問題デアリマシテ、本來ノ金融ノ担ヒ所トハ違フノデアリマスカラ、其ノ點ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、又農村ニ於ケル企業ノ問題ニ付テノ制限ノ問題デアリマスガ、

ソレハ具體的ノ問題ニ付テ、色々特別ノ事情ニ基イテヤツテ居ルノデアリマス、例ヘバ供出制度ト結付テ共同額ヲシタリ、其ノ他色々具體的ノ事業ニ付テハ、具體的ノ事情ニ基イテヤツテ居ルノデアリマシテ、其ノ制約ヲサレベキ事情ガ消滅ヲ致シマスレバ、當然サウ云フ問題モ自然消滅ニナル譯デアリマスカラ、其ノ邊ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○北(政)委員 ソレデハ一寸方向ヲ變ヘマシテ、農村電化ノ問題ヲ伺ヒマス、此ノ農村電化ニ付キマシテモ、是マデノ電力ト云フモノハ配電會社ノミニナツテ居リマスルノデ、皆採算カラ申シマス、農村ナドニヤルヨリ大キナ工業ニ賣ル方宜イコト云フコトニナル、ソコデ小サナ發電所ヲ造リマスナラバ、日本ハ山國デアリマシテ、電力ハ幾ラデモアルノデ極メテ簡易ニ出來ル、是ハハツノ電力ノ配電權利ヲ持ツテ居リマスノデ、之ヲ認可セナイコト云フコトガ日本ノ電力ノ不足ナ原因ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトニ對シマシテハ、本當ニ積極的ニヤラセル、例ヘバ舊縣廢除ニ致シマシテモ、電力ヲ使フコトハ非常ニ必要デアル、又殊ニ山村ニ人ヲ今カラ入レルノニモ、ドウシテモ之ヲ電化シナケレバヤレナイ、斯様ナ事情ニアリマスルガ、是ハ農林省トシマシテ積極的ニオカリニナル考ヘガアルカナイカ、殊ニ今日穀物ノ生産、出荷ニ對シテ、實ハ昨日モ緊急勅令マデ出シテヤラサケレバナラナイト云フヤウナ狀態デナカレ、此ノ生産、出荷ニ付テモ、電力ガアルトナイトデハ大變影響ヲスルコトニナル、今凡ニル農具ガ不足シテ居リマ

シテ、是ガ配電會社ノ配電ヲ受ケテ、一日百何十圓モ取ラレルノデハドウシテモ「マイナス」ニナツテシマフ、之ニ對シテハ極メテ低廉ナモノヲ政府ガ指合スル、サウシテナンボデモ移動シテ電力ガ使ヘル、場合ニ依レバ農事實行組合ニ一ツノ電力ヲ持タセル、サウシテ五戸デモ十戸デモ其處(「コロ」)ヲ引張ツタダケデヤレル、斯様ナコトガナサレナケレバ、アノ就ノ多イモノヲ調整所ニ持ツテ行ケルモノデハナイ、斯ウ云フコトニ對シテモ、本當ニ電力ヲ使用スルニハ莫大ナ資金ガ要ル筈デアル、此ノ農村電力化ト云フ問題ニ對シテ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレ

ルカ承リタイト思ヒマス

○和田國務大臣 農村電化ニ付テハ、私ハ積極的ニ今後ハヤツテ行キタイト思ツテ居リマス、唯残念ナコトニ、豫算ガ相當窮乏デアリマシテ、今年度ハ實ハ最初ハ十箇所バカリ模範ノ農村電化村ヲ選ンデ、ソコデ農村電化ヲ其ノ村ニ付テ徹底的ニヤツテ見タカツタノデアリマス、是ハ農業ノ色々ナ經營ヲ考ヘ、ソレノ其ノ地方々々ノ特色ノアル經濟地帶ヲ選ンデ、サウシテ農村電化ガ一體ドウ云フ所マデ行キ、又ソレヲヤルニハドウ云フ所ニ實際ノ困難ガアリ、又農村電化ヲヤルコトニ依ツテ、ドウ程度ニ農村ノ生産力ガ上ルカ、又生活ガ改善サレルカト云フ色々ナ點ニ付テ、實ハ模範ノモノヲ十箇村バカリ選ビタイト思ツテ、其ノ豫算ヲ出シタノデアリマスガ、非常ニ財政上窮乏デ、僅カニ二箇所シカ豫算ガ認メラレナカツタノデアリマス、私ハ將來日本ノ農業ハ、電化ト云フ方針ニ依ツテ相當ノ效果ガ上ルモノト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テハ、農林省ノ中ニ實

ハ農村電化ニ付テノ一、是ハ何モ官制ニ依ツタモノデハアリマセヌガ、通信省其ノ他各方面ノ技術官トカ、色々ナ者ヲ集メタ委員會ノヤウナモノガアツテ、種々研究ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、研究所ノ人モ來テ居ツテ、技術的ニ言ツテ、一體ドウ云フ問題ガアルカト云フヤウナコトカラ研究致サセテ居ツタ譯デアリマス、豫算ノ面ニ現ハレテ居ルモノハ、本年ハホンノ僅カナモノデアリマスガ、是ハ將來是非トモ力ヲ入レテ、農村電化ト云フコトニ依ツテ、御話ノヤウニ農業ノ生産力ヲ上ゲ、農民ノ勞苦ヲ出來ルダケ少クシテ行クコトヲヤリタイト思ツテ居リマス

○北(政)委員 只今電化ニ付テ積極的ノ御考ヘノアルコトニ敬意ヲ表スルモノデアリマスガ、私ハ別ニ豫算ガナクテモ宜イト思フ、ドウカ資料ヲ取ツテヤツテ藏キタイ、ソレモ公定値便宜ノデス、公定値便宜レバマダノ殖エハ出來ナイ、ソコデ農林省デ、豫算ハ何モ要ラナイ、ソナ補助ヲシナクテモ宜イデスカラ、一ツ資料ヲ公定價格ヲ取ツテヤツテ貰ヒタイ、斯ウヤツテ貰ヘバ直チニ出來ル、唯一地方ノ採算ガ取レヌカラヤラヌト云フモノニ對シテノ補助助成ハ、是ハ將來考ヘテ戴キタイト思ヒマス、隨テ全然豫算ガ要ラヌト云フ意味デハナイガ、今ノ所ハ寧ロ欲シモノハ資料デス、何トシテモ閣下ナケレバ是ガ入ラナイ、閣下コロデハナイ、米デナケレバ入ラナイ、私共ノ雨龍村アタリデハ、電燈ヲ點ケテヤルト云フノデ米ヲ根コソ取ラレテシマツタ、ダカラ政府ノ方デナンボ劇當テラレテモイケンナイ、斯ウ云フ米

ノ横流ノ因ガ之ニ大變アルト云フコトヲ御諒承戴キタイノデアリマス、サウシレバ線デモ何デモ方法ガアルダラウト思フ、今聞ク所ニ依リマス、私共ノ方デモ三百萬圓位アルト、閣下可ナリノ調製機ガ入ルト云フコトデスガ、サウ云フ閣下ナク、ソレニ必要ナ資金ハ中金ガ融通スルコト云フコトニナレバ宜イノデアリマス、所ガ其ノ資金ハ融通シナイ、向フハ新圓デ要求スル、斯ウ云フコトデ困ツテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテ何トカ出來ルヤウナコトヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス

以上デ質問ヲ終リタイト思ヒマスガ、總體ヲ纏メテ申上ゲマス、農林中央金庫ハ積極的ニ完全ニ民主化シテ貰ヒタイ、役人ト職員ダケデツテ居ル、斯ウ云フコトハ駄目、根本的ニ中金ノ改革ヲシテ貰ヒタイ、事務ナドモアア云フ複雑ナ、ア、云フ難カシイコトヲシテ、農村ノ單位組合ナドハ金ヲ借リルコトモ何モ出來ナイ、資金ノ餘裕金ガアルト云フガ、必要ナ金ガアツテモ貸サナイデ居ル、斯ウ云フコトヲ見マシテモ、又本當ニ皆ノ出資者ノ必要ニ應ズルナラバ、私ハ政府資金ハオ止メニナツテモ宜シイノデヤナイカト思フ、政府資金ヲ僅カバカリ入レマシテ、サウシテ是レ役人ガ勝手ニスル、是ハ全くノ封建思想デアリマス、僅カ三千萬圓カ五千萬圓ノ資金デ此ノ頭ヲ抑ヘル、之ヲ一ツ是非共止メテ貰ヒタイ、ソレカラ所屬團體ニミ融通スベキモノデハナイ、寧ロソレナラバ出資ニ依ツテ參加セシメタルコトガ宜イノダ、ソレナラ本當ノ單位組合或ハ組

合

合員ナリガ参加スルノデアリマスカラ、ソレデ肥料ノ資金デモ何デモ樂々出來ルノデアリマス、ソレヲヤラセナデ、財閥ニ融通サセヨトスルノハ大キナ誤リガアルノデハナイカ、所謂農村ノ共同機關デアル所ノ中央金庫ト云フモノヲ財閥ニ懸用サセル、斯様ナ考ヘ方ヲ致シマス、今一ツハ、今マデ農村ニ於ケル各種ノ統制ノ名ニ於テ、營利業者ニ獨占ヲ與ヘタモノヲ速カニ解除シテ戴キタイ、ナンデモカンデモヤルトカヤラストカ云フコトデナシニ、現在遊シテ居ル機械デ今造レバ直チニヤレルノデス、是ガ皆シナ營利業者ノ獨占ニサレテシマツテ居ル、例ハ製糖機械一ツニシテモサウダ、是レダカラモウ配給ニナラナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ止メテ貰ヒタイ、モウ一ツ最後ニ、今ノ電力化ニ對シテハモツト御研究ニナツテ、豫算ガナケレバ出來ヌト云フ考ヘヲ持タイデ、金ヲ持ツテヤルノハ馬鹿デモ出來ル譯デ、アナタ方ハ頭ガ良イノダカラ、金ヲ持ダズニヤルト云フ工面ヲ御考ヘ願ヒタイ、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○馬越委員長代理 米倉君ニ申上ゲマスガ、田中君ノ質問ニ關聯シマシテ、物價廳次長ガオ見エニナツテ居リマス、簡單ダサウデアリマスカラ、其ノ質問ヲ先ニ許シマス、田中君

○田中(健)委員 物價廳關係ノコトニ付テ一寸御伺ヒシタイ思ヒマスガ、農林當局ニ於キマシテ、屢々新米價ヲ設定スルト云フコトニ付キマシテ言明シテ居ラレルヤウデアリマスガ、之ニ對シマシテ物價廳關係ト致シマシテハ、農林省方面ニ於テ言明シテ居ラレルヤウナ米價ヲ、ドノヤウニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトニ付テ御伺ヒ

シタイと思ヒマス

○工務政府委員 御答ヘ致シマス、米ノ價格ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ最近一般ニ勞銀ノ昂騰ガ生ジテ參リマシタ、米ノ生産原價ノ大部分ヲ占メルモノハ、現状ニ於キマシテハ勞銀デアリマス、隨テ既ニ發生シテ居リマス勞銀ノ昂騰ヲ既成事實トシテ認メマス以上ハ、米ノ價格ニ付テモ改訂ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、時期モ切迫シテ居リマスカラ、早急ニ決定シタイと思ヒマス、一生懸命ニ今立案ヲ急イデ居リマス

○田中(健)委員 サウシマス一反歩當リノ生産ニ要スル勞銀ヲ、物價廳デハドレダケニ見込シテ居ラレルノデスカ

○工務政府委員 農村ノ勞力ハ、御承知ノヤウニ九割以上ガ自家勞力デアルト云フコトモ、是レモ事實トシテ御考ヘ願ヒタイと思ヒマスガ、從來ニ於キマシテハ、都市ノ普通勞銀ト農村勞銀トノ間ニハ、若干ノ開キガゴザイマシタ、大體農村勞銀ハ都市勞銀ニ比ベテ七割程度デアッタノデアリマス、是ハ農村ガ生活ガ容易イ、或ハ自家勞力ヲ用ヒルト云フヤウナ點ガ加ハツテ居ツタと思ヒマスガ、最近ニ於キマシテハ物價ガ都鄙ヲ通ジマシテ平準化シテ來マシタコトト、農村ノ生活水準ガ段々高クナツテ、其ノ比率ノ差ガ段々縮マツテ參リマシタ、最近ニ於キマシテハ大體八割五分割程度マデニ上ツテ參リマシタ、隨テ色々ノ資金統計ヲ集メマシテ、ソレニ依ツテ都市ノ基準資金ガ決マル譯デアリマスカラ、其ノ八割五分見當リ農村ノ勞銀ト致シマシテ考ヘテ見ルト云フコトデ、算出ヲ急イデ居リマス

○田中(健)委員 只今アナタノ御話ニ依リマス、サウ云フ計算カラ出發スレバ、今年ノ米價ハドノ位ニスレバ宜イノデスカ

○工務政府委員 御答ヘ致シマス、此ノ點ニ付キマシテハ世上色々ノ説ガ立ツテ居ルノデアリマスガ、斯ク云フ重大ナ問題ニ付キマシテハ、政府トシテノ意見ガ確定致シマスマデハ、サウ云フ數字ヲ發表致シマスコトハ百害アツテ一利ガナイト私ノ方ハ考ヘテ居リマス、ト申シマスコトハ、米ノ問題ニ付キマシテモ、現状ニ於キマシテハ日本政府單獨決マラナイ問題デアリマス、色々折衝ノ必要モアリマスノデ、確定致シマシタ上ニ公表致シタイト存ジテ居リマス

○田中(健)委員 私ハ先般ノ本委員會ノ席上ニ於キマシテ、次官ヨリ米價ノ問題ニ付テ若干ノ答辯ヲ承ツテ居リマシタガ、大體其ノ答辯ニ依ツテ諒承致シタイと思ツテ居リマシタ所、其ノ後色々ナ方面カラ、物價廳ト農林省當局ノ言明トノ間ニ開キガアル、其ノ爲ニ米價ヲ決定スルコトハ早急ニ出來ナイト云フ風ニ思ハレルノデ、今日茲ニ質問致シタノデアリマスガ、開ク所ニ依ルト、農林省ハ早場米ノ供出、或ハ新米ノ供出ノ方策ニ付テ、今日日中ニ發表スル、御承知ノ通り衆議院ノ食糧對策委員會ト致シマシテハ、今日ノ新聞ノ記事ニゴザイマス通り、非常ナ難作ヲ發表シテ居リマスガ、難作デカガ決マラナイト云フコトニナルト、幾ラ難作デ、米ノ作況ガ良イト言ツテモ、米ハ出テ來ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラバナラヌ、此ノ際一言シテ置キタイコ

トハ、物價廳ノ只今ノ答辯ニ依リマス、私ハ此ノ場ニ於テ理窟ヲ申上ゲヨウトハ思ヒマセヌガ、計算ノ基礎ニ於テ非常ニ違ツテ居ル點ガアルと思ヒマス、農村ガ非常ニ樂ニナツテ來タレドモ、農業經營ハ非常ニ難ニナツテハ居リマス、假ニ一反歩二十人、或ハ畑作ノ場合ニハ三十人、或ハ三十五人、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見マシタ場合ニ於テモ、物價廳ニ於テハ勞銀ヲ一人ドレ位ニ見ルカ分リマセヌケレドモ、假ニ三十圓ト見テモ、二十人掛ツタ場合ニハ六百圓掛ル、是ハ自家勞力デアルガ、自家勞力デアルカラ只宜シイト云フ譯デハナイ、ヤハリ自家勞力ニ依ツテ人間ガ生活シテ行カケラバナラヌカラ、斯ウ云フモノハ、今ノ經濟狀態ニ於ケル正シイ見方ヲ持ツテ行カケラハナラヌト私ハ思ヒマス、成程資金ハ公定資金、或ハ政府決メテ居ルモノガアルデアリマスガ、併シ實際ニ當嵌ラナイモノヲ、農村ニ當嵌メテ行クツテ、サウ云フ色ナ點カラハ農業會ナシカデモ、或ハ其ノ他各方面ニ於テモ、今年ノ米價ト云フモノハ千二百圓前後デナケレバナラヌト云フコトヲ發表シテ居ルト私ハ思ヒマス、此ノ際私ハ、ソレ等ノ一々ノ數字ヲ言シテ此處デ議論ヲ致サウトハ思ヒマセヌケレドモ、巷間傳ヘル所ノ物價廳ノ、去年ノ米價三百圓ニ對シ二三百圓前後ヲ加ヘテ、五百圓前後ヲ以テ今年度ノ米ノ供出ヲサセヨウナドト云フコトハ、トシダコトデアツテ、ソノコトガ農村ニ流布サレルト云フコトニナツタナラバ、供出ト云フモノハ非常ニ不圓滑ナ狀態ニ陥ルデヤイカト云フコト

ヲ憂慮致スモノデアリマス、隨テ此ノ際農村デ考ヘテ居ルコト、或ハ農業團體デ考ヘテ居ルコト、其ノ他各方面デ考ヘテ居ル米價ト著シイ差違ノアルヤウナモノデハナク、相當ソコニ近付イタモノデナケレバ私ハイケナイト考ヘラモノデゴザイマス、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテ、所謂巷間傳ヘル所ノ、五百圓前後ノ米價ト云フコトヲ物價廳ガ考ヘテ居ラレルノデアルカドウカニ付テ、一寸伺ヒタイ、ソレハ噂デアルナラバ抑シテ御願ヒ致シマセヌガ、此ノ點御尋ネ致シタイと思ヒマス

○工務政府委員 今ノ御話ノ中デ、一寸誤解ガアツタヤウダカラ、此ノ點デハ御訂正願ヒタイと思ヒマスガ、サツキ申上ゲマシタハ、農村ノ經營狀態ガ非常ニ良クナツタト云フコトヲ御話シタノデハナイノデアリマス、農村ノ資金ノ水準ガ都市ト比ベマシテ最近ハ上ツテ來タ、其ノ比率ガ狭マツテ來タト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ點ハ御諒承願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ今物價廳デ考ヘテ居リマス價格ニ付キマシテハ、是ハ何處ヘモ發表シテ御話ノヤウナコトガ傳ハツテ居ルト致シマスナラバ、ソレハ流説デアラウト思ヒマス、御諒承願ヒマス

○田中(健)委員 簡單ニ御尋ネ致シタイと思ヒマス、只今物價廳次長カラノ御答辯ニ依リマシテ大略判明致シマシタガ、此ノ際農林當局ニ於テ言明シテ居リマス所、米價ニ對シテ大臣ノ御所見ヲ御伺ヒシタイと思ヒマス、此ノ問題ハ極メテ重要ナ問題デアリマシテ、農村方面ニ於テハ米價六百圓ト云フコトガ非常ニ宣傳サレテ居ルノデアリマス、私モ農村方面カ

ヲ上京シテ者トモ會フテ居リマスシ、又農村方面ニモ最近廻リテ参リマシタガ、六百圓ト云フコトガドウ云フ譯カ私館ク分リマセシガ、非常ニ評判ニナリテ居リマス、此ノ農村ノ六百圓問題ナルモノニ對シマシテ、農業會方面、就ニ生産者方面ニ於テハ非常ニ不滿ヲ持ツテ居ルノデス、今日此ノヤウナ肥料ノ値段、或ハ農業經營ニ必要ナル物資ノ値段、或ハ農家ノ生活必需品ノ値段、或ハ勞銀ノ問題、或ハ米ヲ出サナケレバ物ヲ買ヘナイ、或ハ人ヲ雇ヘナイ、斯ウ云フ状態ノ下ニ於テ六百圓ト云フ米價デアツテハ、迎モヤツテ行カレルモノデハナイ、サウ云フヤウナ不滿ガ非常ニ高イノデアリマス、隨テ私ハ此ノ際六百圓問題ナルモノニ對シマシテ、農相ノ御考ヘ伺ヒタイ、デマ、デアルトスレバ、之ヲ御否定ナサツタ方ガ農村方面ヲ安定スル上ニ都合ガ好イと思ヒマス

○和田國務大臣 米價ヲ如何ニスルカト云フコトハ、私モ具體的ニ喋ツタコトハナイノデアリマスガ、米價ノ問題ハ只今物價騰貴長ガ話シマシタヤウニ、色々ノ角度カラ檢討フシテ貰ツテ居ルノデアリマシテ、生産費ヲ價ヒ、其ノ他物價事情ヲ斟酌シテ決メルコトニナツテ居リマスノデ、我々トシテモ是ハ至急ニ是非決メタイと思ヒマシテ、此ノ間カラ物價騰下價ト話合ワシテ居ルノデアリマシテ、只今御尋ネノ點ニ付テハ、至急我々トシテハ適當ナ所ヘ早ク決メタイ、斯ウ申上ゲルヨリ外ハアリマセヌ

○農務委員長代理 米倉君 ○米倉委員 今マデ御聽キシテ居リマス、農林中金ノ全面的ナ改正ト云フカ、根本的ナ改正ト云フカ、何レ

ヤルンダト云フ御考ヘガオアリノヤウデアリマス、又先日此ノ問題ノ本會議上程ノ時ニ質問フシタモノニ對スル大藏大臣ノ御答辭ニモ、金融全般ニ互ツテノ改正ヲ今考ヘテ居ルカラ、其際ニ中金ノ問題モ何トカ改正スルノダト云フ御話デアリマシタカラ、何レ是ハ改正サレルモノダト心得テ居リマスガ、農村金融機關ノアリ方ニ付テ、御當局デハドンナ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、此ノ點ヲ先ヅ御尋ネヨシタイと思フノデアリマス、我が國ノ農村金融ハ、我が國ノ農業ノ實體、或ハ農村生活ノ實際カラ、一ツノ特殊ナ發達ヲシタモノデラウト思ヒマスガ、綜合組織ノ協同理念ニ基キテ金融ガ今日發達シテ來テ居ルノハ、此ノ特殊ノ農村事情カラダラウト思ヒマス、産業組合法ニ依ル信用組合ノ線カラ、今日農業會ニ至ル一貫シタ農村金融ノ歩ミ方ハ、其ノ線ヲ發達サシタノデアリマス、從來是ガ勸業銀行トカ、或ハ普通ノ商業銀行ノ業務ノ一部分デ、農業金融ナリ農村金融ヲヤツテ居タツタシタラ、今日ノヤウナ發達ハシナカツタと思ヒマス、所デ實際ノ運営ハ、唯單ニ金融機關ダト云フノデナク、農村ノ各部面ニ互ツテ綜合的ナモノノ一環トシテ、此ノ金融事業ガ行ハレテ來タ、是ガ今日我が國ノ農村金融ノ發展ヲ見タ所以ダト思ヒマス、言換ヘレバ、信用、購買、販賣事業ト云フヤウナ各種ノ事業ガ綜合的ニ行ハレテ發達シテ來タと思ヒマス、是ハヤハリ根本的ナモノデアリマシテ、農村ノ金融機關ヲ考ヘタ時ニ、單ニ金融機關ダケノ見方デ農村金融ヲ考ヘタノデハ、了解ガ出來ナイデラウト思ヒマス、世間ニ金融ハ別ノモノデアラカラ、農村金融ニ於テモ、金融事

業ハ農村團體カラ取ツテモ宜イデヤナイカ、別段ニシテ宜イデヤナイカト云フヤウナ話ガ時ニ出ルノデアリマス、併シ農林省ガ先般御發表ニナツテ居リマスル、新シイ農業協同組合法案ニ於キマシテモ、是ハ別立デナク、從來ノヤウナ御方針デ行タツコトガ諒解出來ルノデアリマス、大藏大臣ナドガ國全體ノ金融ヲ整備シテ行ク、改正シテ行タツコト云フヤウナ御考ガアル、其ノ際ニ農林御當局トシテハ、從來ノ御方針ヲ堅持シテオカリナツテ鐵キタイト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點御當局ノ考ヘ方ヲ此ノ際先ヅ御聽キ致シタイノデアリマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、農村金融ハ、私ハヤハリ協同組合金融ノ形デ行クノガ一番宜イと思ツテ居リマス、先般大藏省內ニ出來マシタ金融制度調査令ノ方針ニモ、農業金融ハ協同組合的ナ方式デヤツテ行クト云フ項目ヲ、體力一項目ダケ私共ハ入レテ貰ツタヤウナコトガアルノデアリマシテ、將來ト雖モ是ハヤハリ協同組合ノ組合金融ト云フ形デ行キタイと思フノデアリマス、唯下バズツソレデ宜イノデアリマスガ、中央ニナツテ來マス、是ハヤハリ中央ノ一般ノ金融ト結合付ク必要ガゴザイマスルノデ、上ハ中央金融ト云フ特殊ノ金融機關ノ形デ、而モ中央金融ハ是ハ協同組合ヲ基礎ニシタ金融デアル、斯ウ云フ形デ中央ノ金融ト結合付ケルコト云フノガ、是ハ何處ノ例ヲ見マシテモ妥當ノ行キ方ダト思フノデアリマス、唯金融ダケ考ヘル人ガ、金融ハ別ダカラ、末端マデ之ヲ切離シテ行クノガ便利デハナイカト云フ議論ガアルノデアリマスガ、ヤハリ是ハ一面的ナ議論デアリマシテ、

金融ト云フモノハ、其ノ背後ニハ物的ナ生産或ハ物資ノ流レト融通ト云フコトガ常ニ伴ツテ居ルノデアツテ、金融現象ト云フモノハ、謂ハバ貨幣現象ト云フ「レール」ノヤウナ關係ガアルノデ、ドウシテモソレデケリ切離シテ行クト云フコトハ、少クモ生面ニ接觸シタ部分ニ於キマシテハ、是ハ妥當デハナイノデアリマス、從來ノヤウニ、此ノ間ノ協同組合法案ニ於テモ同様ニ考ヘラレルノデアリマスガ、ヤハリ昔ノ言葉デ言ヘバ四種兼營デアリマスガ、サウ云フ組合的ナ建前デ今後モ進ンデ行キタイト、斯ウ考ヘテ居リマス、唯將來ノ問題トシマシテハ、今度ノ農地改革ニ依リマシテ、協同組合ナドノ構成員ガ主トシテ耕作者本位ニナツテ來マスルノデ、益々サウ云フヤウナ點ガ必要ニナツテ來ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○米倉委員 中央金融ハ今申シマシタヤウニ、原則的ニハ、經過カラ申シマシテモ協同組合ノ中央金融機關デアツタノデアリマス、今日モヤハリ、事業ハ非常ニ擴張サレ、色々ノ團體ガ加入サレテ來マシタケレドモ、其ノ中心ニナツテ居リマスモノハ農村ノ金融協同組合ナノデアリマス、デアリマスカラ、今後中金ノ改正スル上ニ於キマシテモ、今マデ北氏ガ御話ニナリマシタヤウニ、モット民主的ナ面ニ之ヲ改正シテ行クコトガドウシテモ必要ダト思フノデアリマス、所屬ノ團體ガ總テ民主的ナ協同組合デアリマス、其ノ一番ノ頂點ニ立ツ、中心ニナル中央金融デアリマスルカラ、其ノ考ヘ方ハ何處マデモ堅持シナケレバナラナイと思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、役員ノ問題モアリマセウガ、政府ノ出資

ヲ此ノ際開放ナサツテ、純粹ノ會員ダケノ出資團體ニスルコトノ御考ヘハナイノデアリマセウカ、出來得レバサウ云フ風ナ形ニシテ、本當ニ中央金融ヲシテ出資團體ト云フカ、加入團體ノモノデアルト云フコトニ、私トシテハ希望スル譯デアリマス、サウ云フ點ニ付テノ御考ヘヲ御聽カセ願ヒタイ

○石川政府委員 中央金融ノ民主化ニ付キマシテハ、先程御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、全面的改正ヲシテ十分活用シテ行キタイと思ヒマス、尙ホ政府出資ノ點ニ關シマシテハ、現在ハ之ヲ除カウト云フ考ヘヲ持ツテ居リマセヌガ、併シナガラ、今度ノ色々ナ金融金庫法其ノ他ノ關係ヲ俟チマシテ、十分顧慮シナケレバナラヌ問題ダト考ヘテ居リマスノデ、研究中デアリマス

○米倉委員 今度中金法ガ改正サレマスレバ、自ラ性格モ變ツテ來ルデアリマセウガ、今回ノ改正ハ、中央金融ノ性格ノ上ニ相當影響ガアルモノダト私ハ思ヒマス、此ノ十四條ノ二ノ改正ハ、年賦貸付ニ對スル融通金額ノ制度ヲ撤廢スルコトヲ譯デアリマスガ、是ハ十五條ノ二ノ事業ヲナス場合ニ不便デアラカラ改正フシタ、デアラカ、或ハ新シク改正サレル次ノ第十五條ノ二ニ依ツテ、第十五條ノ四號五號ニ依ル法人ヘノ貸付ヲ積極的ニスルコト云フコトガ必要デ、此ノ制限ヲ撤廢シタノデアリマセウカ、是ハドウデアリマスカ

○石川政府委員 十四條ノ二ノ改正ハ、農業團體ニ對スル貸付ノ點デアリマシテ、從來ハ御承知ノヤウニ農林中央金融ニ於キマシテハ、拂込資本金ノ十倍ニ相當スル農林債券ノ合計額シカ出セナカッタノデアリマスガ、拂込資本金ハ極メテ少イノデゴザイマスシ、

又農林債券ノ發行モ現在ニ於キマシテハ餘裕ガアリマセヌデ、自己資金ヲ以テ組合所屬團體ニ對スル貸付ヲキツテ見タイ、斯ウ云フヤウナ趣旨デ改正シタリデアリマス

○米倉委員 サウ致シマシテモ、此ノ十五條ノ二ノ新ラシイ規定デ、十五條ノ四號五號ノ法人ニ對スル餘裕金ノ運用範圍ト云フ積極的ナモノガアルガ、併シ、貸付ノ期限十年以内トカ云フコトハアリマスケレドモ、金額ノコトガナインデアリマス、ソレデ金額ノコトガ今度ノ改正ニアリマセヌカラ、結局何ボデモ積極的ニ貸付ケル必要ガヤハリ起ツテ來ルデヤナイカト思フノデ

○和田國務大臣 細カイコトハ農政局長カラ御話シテ戴キマスガ、唯十四條ノ二ト十五條トハ一寸趣旨ガ違フノデアリマス、十四條ノ方ハ中金ノ資金ニ依リ長期ノ一此處ニ出テ居リマスヤウニ、農地ノ造成トカ改良スル事業トカ云フヤウナ、年賦ニ依リ長期資金融通ノ途ヲ開クト云フノガ十四條ノ二デアリマス、十五條ノ方ハ、其ノ餘裕金ヲ中期信用ニ依ツテ與ヘテ行クト云フノデアツテ、期間ガ違フ、隨テ金融ノ性質ガ違ツテ來ル譯デアリマス、片方ハ長期資金デアリ、片方ハ中期信用ト云テ來ルト思フノデアリマス、隨テ十五條ノ方ハ餘裕金ノ運用ニ依ツテヤツテ行ク、十四條ノ方ハ自己資金ヲ團體ニ長期ノ信用ノ途ヲ開イテ、中金ガ長期信用モ出來ル、斯ウ云フコトニシタノデアリマス

○米倉委員 其ノ點分リマシタ、ソコ

デ私性格ノ上ニ變更ヲ來スト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマスガ、十三條ノ一號デハ會員ノ定期貸付期限ガ五箇年ト云フコトニナツテ居ルモノモ拘ラズ、所屬團體デモナイ本條ノ法人ニ對シテ、十箇年ト云フヤウナ長期ノ貸付、定期ナリ或ハ年賦ナリ、斯ウ云フ定期貸付ニ十箇年ト云フヤウナ長イモノヲ認メテ、所屬團體ノ方ハ定期五箇年ト云フコトニ限定シテ居ル、斯ウ云フ點ハ如何デゴザイマセウカ

○和田國務大臣 此ノ中期ノ信用ハ餘裕金ニ限ツテ居ルノデアリマス、今一番農林關係ノ事業デ、必要ナモノデ缺ケテ居ルノハ、實際ハ今度ノ改正ニ依リマシテ餘裕金ノ運用ヲ許シマシタ中期信用ト云フノガ缺ケテ居リマスノデ、ソコデ新タニ道ヲ開イテ、現在ノ中金ノ事情カラ言ヒマシテ餘裕金ガアル譯デアリマスカ、ソレヲ農林水産業ニ密接ナ關係アルモノ、是ハ主務大臣ガ認可ヲ與ヘル時ニ相當嚴選スル譯デアリマスガ、其ノモノニ必要トシテ居ル中期ノ信用ヲ與ヘテ、農林業關係各方面ノ復興ナリ、生産ノ増強ニ資シテ行キタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、性質上ハハドウシテ中期信用デアリマセスト、折角金融シテモ其ノ目的ヲ達シマセヌデ、是ハ中期的ナ信用ヲ與ヘテ譯デアリマス、隨テソレハ唯餘裕金ト云フコトニ限定シテ居ル譯デアリマシテ、第五號ノモノトハ是ハ謂ハバ性質ヲ異ニシテ居ル、新シイ道ヲ開イタ、斯ウ云フ譯デアリマス

○米倉委員 次ニ第一ノ蠶絲業會ト蠶絲協同組合ヲ挿入シタコトデアリマス、此ノ蠶絲業會ナリ蠶絲協同組合ナリハ、ハ結局蠶絲ノ製造トカ或ハ製

絲ニ關係シタヤウナコトノ共同施設ヲ主ニ考ヘテノモノデアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事業ハ、第一次原始産業トハ區別シ得ラレハ點ニ於キマシテ、製粉トカ製油トカ醸造トカ同ジヤウナ考ヘテモ宜イデアハナイカト思フノデ、ソコデ製粉トカ製油トカ醸造ノヤウナモノノ共同組合ヲ組織シタ場合ニハ、今日マデ、商工組合法ニ依ツテ居ルノダラウト思ヒマス、此ノ金融ハ商工中金ニ依存シテ來テ居ルヤウデアリマス、ソレカラ前申シタモノヲ農林中金ニ今度ハ挿入スル、斯ウ云フヤウナ農産加工のモノノ取扱ワ、サウ云フ風ニ兩省デ分ケテ御取扱スルコトニ致シテ、色々先程北氏カラノ御話ノ中ニモソレニ觸レテ居リマスガ、今後ノ農村工業化ヲ圖ツテ行ク上ニ支障ガアル點ガ多イデアリマス、斯ウ云フ點デ此ノ共同組合ニ對スル金融ト云フモノハ、農林省所管ノ農林中金ト云フヤウナモノニ一元化シテ行ク、サウ云フコトハ、結局サウ云フカ重ニ角一元化シテ行クト云フコトノ方ガ、實際ノ仕事ヲスル者ノ方カラ申シマストト非常ニ便宜ガ多イデアリマス、其ノ點御意見見伺ヒタイと思ヒマス

○石川政府委員 此ノ蠶絲協同組合或ハ蠶絲業會ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤウニ生産カラ加工、販賣マデヤツテ居ル團體デアリマス、隨ヒマシテ先程モ一寸申上ゲタノデアリマスガ、是ハ本年ノ改正蠶絲業法ニ依ツテ出來タ團體デアリマスノデ、現在マデ經過ヲ見テ居ツタノデアリマス、併シナガラ最近ヨリ於キマシテ、輸入見返品ノ對

象デアリマス生産ノ生産、ソレニ從ツテ蠶ノ生産ト云フヤウナ、相當經費ヲ要スル團體ニナツテ來タノデアリマスノデ、今同ノ改正ヲ機トシテ加入ヲ認メタノデアリマス、尙ホ是ト同様ニ、農村ノ加工ナリ或ハ生産ナリ、或ハ取引ナリト云フモノニ對スル共同組合ガアリマシテ、ソレガ本組合ニ加入スルコトガ適當デアルト認メマスナラバ、十分考慮シテ差支ヘナイト斯ウ考ヘテ居リマス

○米倉委員 此ノ蠶絲業會ハ融通スルコトハ、現在ノ事情デハ、會社トカ或ハ營利的ニ行ツテ居ル蠶絲業者ヘノ融資ニ相成ル譯デアリ、サウ云フ點ガ本當ニ協同組合ヲ以テ成立ツテ居ル中央金庫ノ融資ノ方針カラ言ヘバ、原則的ナモノデハナイト思フ、ソレハソレト致シマシテ、此ノ蠶絲業ニ付キマシテ、日本ノ蠶絲業ハ、申上ゲルマデモナク今日マデ非常ニ曲折ヲ辿ツテ、好イ時モアリ惡イ時モアル、非常ニ波瀾萬丈ノ經過ヲ辿ツテ居リマシテ、其ノ間々、其ノ時々ノ政府ノ蠶絲行政モ變ツテ居リマスガ、曾テ蠶繭處理統制法ト云フモノヲ拵ヘシテ、其ノ當時ノ特約取引ノ認可制ヲ決メルトカ、或ハ産業組合蠶絲、或ハ乾繭取引ト云フヤウナモノノ獎勵ヲ積極的ニサツタリ、或ハ繭ノ檢定ヲ強制的ニヤル、兎ニ角繭ノ生産者ヲ保護スル、養蠶家ヲ保護スル、サウ云フ政策ヲ御執リニナツタコトモアルノデアリマス、其ノ後時勢ガ變リマシテ、昭和十六年デスカ蠶絲統制法ガ出來マシテ、蠶絲業ノ會社ニ日本蠶絲統制株式會社、或ハ蠶絲製造株式會社ト云フヤウナモノガ出來マシテ、ソレガ廢止ニナツテ、今度又復元ヲスルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、結局蠶絲業ト云フモノガ、養蠶ト

製絲ト云フモノトガ對立ノ形ヲ以テ行クト云フ從來ノヤウナ機構ヲ又復元スレバ、ヤハリ曾テ蠶繭處理統制法ヲ作ラナケレバナラナカッタヤウナ事態モ起ルカト思フ、此ノ復元ノ機會ニ蠶絲業ノ在リ方ヲ、共同組合ノヤウナ形ニシテ行クト云フ御考ヘヲ以テ、御獎勵ナリ、御勸奨ナリヲ行クコトガ、蠶絲業將來ノ爲ニ私共ハ望ミシト思フノデアリマス、其ノ方式トシテハ、勿論養蠶家自體ノ從來ノ組合製絲ノ形式ヲ方式モ執レルデモウシ、或ハ町村蠶絲業會ノ聯合體ノ形式モ執レルデモウ、更ニ現在ノ製絲家ト蠶絲會ト云フモノトノ合作ニ依ル形式モ執レルドラウト思フ、何レニシマシテモ從來ノヤウナ蠶絲業ガ衰微、製絲ト云フヤウナ兩會ガ對立シナイデ、渾然一體トナツタ共同組合ノ形デ行クト云フ風ナ御獎勵ナリ、私トシテハ御願ヒスルノデアリマス、此ノ點御當局ノ御意見見伺ヒタイ致シマス

○和田國務大臣 蠶絲業ノ將來ノ在リ方ニ付キマシテハ、御意見ヲ十分參考ニシテ行キタイト思ヒマス、組合製絲ノ問題モ、勿論今後ハ農村工業ト云フ建前カラモ取上ゲラレル問題デゴザイマスルシ、日本ノ今ノ製絲ノ位置カラ考ヘマシテモ、サウ云フ點ハ十分考ヘマシテ、將來ノ蠶絲業ノ在リ方ニ付テハ善處致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、何ヲ申シマシテモ、現在ハ片方デ速急ニ「アメリカ」カラノ需要ガアルニモ拘ラズ、桑園ハ戰時中減リ、又製絲ノ工場自體モ相當ノ被害ガアリマシテ、十分ノ復興ガ出來テ居リマセヌデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、養蠶ノ末端カラ是非合理的ナ方法ヲ打立テテ行キタイト考ヘテ居リマス、我々ト

象デアリマス生産ノ生産、ソレニ從ツテ蠶ノ生産ト云フヤウナ、相當經費ヲ要スル團體ニナツテ來タノデアリマスノデ、今同ノ改正ヲ機トシテ加入ヲ認メタノデアリマス、尙ホ是ト同様ニ、農村ノ加工ナリ或ハ生産ナリ、或ハ取引ナリト云フモノニ對スル共同組合ガアリマシテ、ソレガ本組合ニ加入スルコトガ適當デアルト認メマスナラバ、十分考慮シテ差支ヘナイト斯ウ考ヘテ居リマス

○米倉委員 此ノ蠶絲業會ハ融通スルコトハ、現在ノ事情デハ、會社トカ或ハ營利的ニ行ツテ居ル蠶絲業者ヘノ融資ニ相成ル譯デアリ、サウ云フ點ガ本當ニ協同組合ヲ以テ成立ツテ居ル中央金庫ノ融資ノ方針カラ言ヘバ、原則的ナモノデハナイト思フ、ソレハソレト致シマシテ、此ノ蠶絲業ニ付キマシテ、日本ノ蠶絲業ハ、申上ゲルマデモナク今日マデ非常ニ曲折ヲ辿ツテ、好イ時モアリ惡イ時モアル、非常ニ波瀾萬丈ノ經過ヲ辿ツテ居リマシテ、其ノ間々、其ノ時々ノ政府ノ蠶絲行政モ變ツテ居リマスガ、曾テ蠶繭處理統制法ト云フモノヲ拵ヘシテ、其ノ當時ノ特約取引ノ認可制ヲ決メルトカ、或ハ産業組合蠶絲、或ハ乾繭取引ト云フヤウナモノノ獎勵ヲ積極的ニサツタリ、或ハ繭ノ檢定ヲ強制的ニヤル、兎ニ角繭ノ生産者ヲ保護スル、養蠶家ヲ保護スル、サウ云フ政策ヲ御執リニナツタコトモアルノデアリマス、其ノ後時勢ガ變リマシテ、昭和十六年デスカ蠶絲統制法ガ出來マシテ、蠶絲業ノ會社ニ日本蠶絲統制株式會社、或ハ蠶絲製造株式會社ト云フヤウナモノガ出來マシテ、ソレガ廢止ニナツテ、今度又復元ヲスルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、結局蠶絲業ト云フモノガ、養蠶ト

象デアリマス生産ノ生産、ソレニ從ツテ蠶ノ生産ト云フヤウナ、相當經費ヲ要スル團體ニナツテ來タノデアリマスノデ、今同ノ改正ヲ機トシテ加入ヲ認メタノデアリマス、尙ホ是ト同様ニ、農村ノ加工ナリ或ハ生産ナリ、或ハ取引ナリト云フモノニ對スル共同組合ガアリマシテ、ソレガ本組合ニ加入スルコトガ適當デアルト認メマスナラバ、十分考慮シテ差支ヘナイト斯ウ考ヘテ居リマス

○米倉委員 此ノ蠶絲業會ハ融通スルコトハ、現在ノ事情デハ、會社トカ或ハ營利的ニ行ツテ居ル蠶絲業者ヘノ融資ニ相成ル譯デアリ、サウ云フ點ガ本當ニ協同組合ヲ以テ成立ツテ居ル中央金庫ノ融資ノ方針カラ言ヘバ、原則的ナモノデハナイト思フ、ソレハソレト致シマシテ、此ノ蠶絲業ニ付キマシテ、日本ノ蠶絲業ハ、申上ゲルマデモナク今日マデ非常ニ曲折ヲ辿ツテ、好イ時モアリ惡イ時モアル、非常ニ波瀾萬丈ノ經過ヲ辿ツテ居リマシテ、其ノ間々、其ノ時々ノ政府ノ蠶絲行政モ變ツテ居リマスガ、曾テ蠶繭處理統制法ト云フモノヲ拵ヘシテ、其ノ當時ノ特約取引ノ認可制ヲ決メルトカ、或ハ産業組合蠶絲、或ハ乾繭取引ト云フヤウナモノノ獎勵ヲ積極的ニサツタリ、或ハ繭ノ檢定ヲ強制的ニヤル、兎ニ角繭ノ生産者ヲ保護スル、養蠶家ヲ保護スル、サウ云フ政策ヲ御執リニナツタコトモアルノデアリマス、其ノ後時勢ガ變リマシテ、昭和十六年デスカ蠶絲統制法ガ出來マシテ、蠶絲業ノ會社ニ日本蠶絲統制株式會社、或ハ蠶絲製造株式會社ト云フヤウナモノガ出來マシテ、ソレガ廢止ニナツテ、今度又復元ヲスルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、結局蠶絲業ト云フモノガ、養蠶ト

象デアリマス生産ノ生産、ソレニ從ツテ蠶ノ生産ト云フヤウナ、相當經費ヲ要スル團體ニナツテ來タノデアリマスノデ、今同ノ改正ヲ機トシテ加入ヲ認メタノデアリマス、尙ホ是ト同様ニ、農村ノ加工ナリ或ハ生産ナリ、或ハ取引ナリト云フモノニ對スル共同組合ガアリマシテ、ソレガ本組合ニ加入スルコトガ適當デアルト認メマスナラバ、十分考慮シテ差支ヘナイト斯ウ考ヘテ居リマス

致シマシテハ、一應養蠶ノ組織化ニ付
キマシテハ、農協組合同組合トシテ之ヲ
ハ取入レテ考テアリマスガ、是
ハ色々ナ都合ガアリマシテ、此ノ議會
ニ提出ノ運ビナリマセムガ、次ニハ
是非提出致シマシテ、サウ云フ意味ノ
協同組合ト云フヤウナコトニ付テハ、
十分ナ基礎ヲ與ヘルヤウニ致シタイ、
斯ウ考ヘテ居ル次第アリマス

○米倉委員 蠶絲業ノコトニ付キマシ
テハ御方針ガ分リマシタガ、次ニ農機
具ノ問題ニ移リタイと思ヒマス、先程
北氏カラモ發言ガアリマシタガ、農機
具ガ非常ニ需給ノ關係ガ惡イノデアリ
マス、現在ノ農機具ノ生産關係ニ於テ
ハドウ云フ風ニオヤリニナツテ居リマ
スルカ、アノ農機具統制組合ト申シマ
スカ、會社ト申シマスカ、是ガ生産ヲ
引受ケテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ
農機具統制組合ト實際ノ働キハ極メテ
緩慢ナモノノヤウデアリマス、第一資
金ノ點ナドニ非常ニ困ツテ居ルヤウデ
アリマス、是ガ「メーカ」ノ中心機
關トシテ色々世話ヲシテ居ルヤウデア
リマスガ、「メーカ」ガ本當ニ働ケル
ヤウニ、此ノ統制組合ノ活動ガ出來ナ
イヤウナ状態デアルヤウニ見エルト
アリマス、資金ノ點ナドニ於キマシテ
モ、中金カラ僅カ出テ居リマスケレド
モ、是ハ大體中金ハ直接出ス形デナク
テ、商工中央金庫ニ融通シテ、ソレカ
ラ出スト云フヤウナ形式ヲ御執リニナ
ツテ居ルモノト思ヒマス、斯ウ云ツタ
點ニ付キマシテ、モツト農機具ノ生
産ヲ迅速ニ、又時期ニ適合シタモノヲ
作ルヤウニ監督ヲ願ヒタイと思フノデ
アリマス、是ハ農林大臣ノ御耳ナドニ
ハ勿論入ラナイダラウト思ヒマスけれ
ドモ、鐵ナドニ付キマシテモ、私ハ長

野縣デアリマスガ、二萬挺ノ鐵ガ參リ
マシタケレドモ、配給シテ見テ一ツト
シテ、農村ノ人ニ歡迎サレタモノハナ
イ、皆辰サレシマフト云フヤウナ實
情デアリマス、非常ナ手數ヲ掛ケ、又
ソレヲ元ハ戻シテシマフ、サウ云フ實
體デゴザイマス、是モ結局今ノ農機具
ノ生産配給ニ付テノ機構ナリ内容ナリ
ガ、ドウモ能ク行ツテ居ナイカラデハ
ナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテハ十分御監督ヲ願ヒ、又將
來農機具ノ生産配給ニ付テノ新シイ御
構想ヲ御願ヒシタイ、此ノ點ノ御考ヘ
ヲ御聽キシタイと思ヒマス

○和田國務大臣 御答ヘ致シマス、農
機具ニ付キマシテハ、私共モ御話ノヤ
ウナ點ヲ聽キマシテ洵ニ相濟マスト思
フテ居リマス、是ハ終戦後農機具ノ需
要ガ非常ニ多クナリマシタノデ、色々
ナ轉換工場ガ、優秀ナ技術ヲ持タズニ
農機具ニ轉換シテ行ツタ、ソコラデ出
來マシタ農機具ノ中ニハ、御話ノヤウ
ナモノモアツタ譯デアリマシテ、私ハ
サウ云フ話ハ實地ニ農民カラモ聞イテ
知ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ農機
具ノ問題ハ、實際農機具業者其ノモノ
ガ、御承知ノ通り大部分ガ中小工業デ
アリマシテ、ソレ等ノ人達ハ、中ニハ
優秀ナ技術ヲ持ツテ居ル者モアリマス
ルガ、其ノ資金デアルトカ云フヤウナ
點デ、是ハ非常ニ苦勞シテ居ルヤウナ
譯デアリマス、ソレカラ農機具ハ御承
知ノヤウニ、色々ノ地方々々ニソレ
ゾレ特色ガアリマシテ、アノ簡單ナ鐵
ナラ鐵ガ、實ハ一番製作ニハ難カシイ
ノデアツテ、サウ云フヤウニ、簡單ニ
見エテ實ハ最モ難ジイ一ツノ工業デア
リマス、是ハ私共ト致シマシテモ、現
在ト雖モ相當監督ハ致シテ居リマス

シ、又農林省ト致シマシテモ、或ル程
度ノ技術ノ指導ハ致シテ居リマス
ガ、御話ノヤウニ十分デゴザイマセ
ヌ、ソコデ何トカシテ、我々ノ方トシ
マシテモ、農機具ニ付キマシテハ御話
ノヤウナ點ガアリマセヌヤウニ、今後
トモ行政ノヤリ方ナリ、色々ノ點ニ付
テ、又農機具業者自身ノ研究モ求メマ
シテ、是非サウ云フコトガナイヤウニ
致シタイト、色々具體的ニ研究モ致シ
テ居ル譯デアリマシテ、從來、例ヘバ
開墾鐵ガ行ツテモ、殆ド開墾ニハ役ニ
立タナイヤウナ鐵ガ行クトカ、或ハ鐵
デモ殆ド使ヘナイヤウナモノガ行クト
云フヤウナコトガアツタ譯デアリマス
ガ、斯ウ云フ點ニ付テモ、今後十分善
處致シタイと思ヒマス

○馬越委員長代理 米倉君、實ハマダ
後ニ高倉君、細田君カラ簡單ナ質問ガ
アルサウデスガ、本日ハ之ヲ以テ打切
ツテ、明日ニナサツタ如何カト思ヒ
マスガ……

○米倉委員 ソレデハ、モウ残り僅カ
デスガ、明日ニ致シマス
○北政委員 今物價調整長ガ御見エ
ニナツテ居ルカラ、簡單ニ伺ヒタイコ
トガアルノデス、先程田中サンノ御質
問ニ對シテ、都市ノ勞賃ニ比ベテ農業
勞賃金ハ約八割五分デアルト云フコ
トデアリマシタガ、此ノ八割五分ト云
フノハドウ云フコトカラ見テ居ラレル
カ、例ヘバ現在政府ノ出シテ居ル豫算
デ見マシテモ、女給仕デ一日十圓以上
ニナツテ居ル、此ノ前次長カラ御聽キ
シタヤウニ現在ノ米價三百圓ノ基礎ハ
農業勞働ヲ十圓デ見て居ル、勞働時間
カラ見テモ何カラ見テモ、女給仕ノ十
倍ノ價值ハ十分アルト思ヒマスガ、女
給仕ガ十圓、其ノ八割五分ト云フコト

ヲ意味シテ居ルノカ、サウデナイノカ、
之ニ依ツテ今ノ米價ノ計算ノ基礎ガ狂
ツテ來ル譯デアル、而モ尙ホ此ノ「イ
ンフレ」ノ進行ニ伴ヒマシテ、勞働賃
金ハドンノ上ツテ來ル、勞賃ノ休戰
ナシテ經濟安定部長ハ言フガ、食ヘ
ナケレバ上ルニ違ヒナシ、爭議ハ益々
起ツテ來ル、之ニ伴ツテ物資ハドン
ドン上ル、今日ノ新聞ナドヲ見マシテ
モ、價格ノ變更シテ居ルモノガアル、
然ルニ米ダケハ年一回ダケニ決メテ
置カレル積リカ、此ノ物價ニ常ニ逆行
シテ行クベキモノデハナイカト思フ
ガ、是ダケノコトヲ御返事願ヒマス

○工務政府委員 勞銀ノ點ニ付キマシ
テハ、只今御話ガアリマシタヤウニ、現
在ノ一般勞銀ガ百圓ト云フコトハ考ヘ
テ居リマセヌ、ソレ等ノ點ニ付キマシ
テハ、現在實際デレダケノ勞賃收入ガ
アルカト云フコトハ、國ノ統計局、
或ハ厚生省アタリデ正確ナ統計ガ出テ
居リマス、ソレニ從ツテヤツテ行カウ
ト考ヘテ居リマス、ソレカラ米ノ價格
ニ付キマシテハ、本年ノ三月ニ一ツノ
物價水準ヲ打立テタノデアリマスガ、
其ノ後ノ經濟情勢、殊ニ都市ニ於キマ
シテハ、御承知ノヤウニ食糧ノ配給ト
云フ事實ガ發生致シマシテ、其ノ爲ニ
必然的ニ勞銀ノ昂騰ヲ伴ツタノデアリ
マス、コンナ關係デ總テノ物價ニ惡
影響ヲ及ボシテ居リマス、併シ私共ガ
考ヘテ居リマスコトハ、「インフレ」ハ
絕對ニ阻止シナケレバナラナイ、斯ウ
云フ建前デヤツテ居ルノデアリマシ
テ、物價ガ將來ニ向ツテ段々上ツテ行
クトカ、或ハ凹凸ガヒドク行ハレルト
カ云フコトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデ
アリマシテ、今度米ノ價格ヲ創定致シ
マシタラ、其ノ價格デ總テ安定致シマ

スヤウニ全力ヲ注ギタイト考ヘテ居リ
マス
○北政委員 サウシマス、大藏大
臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ、物價水
準ノ目標價値ト公定ノ中間ダト言ハ
レタコトハ、是ハ物價局トシテハ御認
メニナラス、斯ウ云フコトニナリマス
カ、モウ一ツ今ノ百圓ハ、私ハ百圓ニ
決マルト言フノデアリマセヌ、唯本當
ノ勞働價值カラ見マシテ百圓ニナルコ
トニナル、斯ウ致シマス、其ノ八割
五分ト見テ居ラレルノカ、農民ハ普通
ノ給仕ヨリハ八割五分、斯ウ云フ見方
ナノカ、斯ウ云フ所デス

○工務政府委員 大藏大臣ガ議會デ御
答ヘニナリマシタ、今後ノ物價ハ公定
價格ト關トノ中間位デ安定スルダラウ
ト云フコトハ、是ハ正確ニ申シマス、
ドウ云フコトヲ意味セラレテ居リマス
ノカ、私共デハハツキリ判斷ガ出來ナ
イノデアリマス、中間ト申シマス、
其ノ二分ノ一ノポイントヲ真中ニ來ルノ
カ、或ハ價值ニ近イ所ニ來ルノカ、或
ハ公定價格ニ近イ所ニ來ルノカ、非
常ニ漠然トシテ居ルノデアリマス、ソ
レ最近ノヤウナ物資ノ窮乏時代ニ於
キマシテハ、物ノ價格ハ、ヤハリ生産
原價ニ近イ所ヲ公正ト見テ行カナケレ
バナラヌト私ハ存ジテ居リマス、物ノ
價格ヲ決定致シマス標準ニハ、需要供
給ノ關係ト生産原價ノ關係、此ノ二ツ
アル點デアリマシテ、物ノ數量ガ豐富
デアリマシテ、自由經濟ノ行ハレマス
時ニハ、其ノ兩者ハ大體同一ノ所マデ
鞏寄シテ來ルノデアリマス、併シ最
近ノヤウニ物資ガ非常ニ窮乏致シテ居
リマス、需給ノ關係ノミニ任セマス
ト、申上グルマデヒナク、非常ニ裕福
ナ所ニ物資ガ集マツテ來マシテ、國民全

ヲ意味シテ居ルノカ、サウデナイノカ、
之ニ依ツテ今ノ米價ノ計算ノ基礎ガ狂
ツテ來ル譯デアル、而モ尙ホ此ノ「イ
ンフレ」ノ進行ニ伴ヒマシテ、勞働賃
金ハドンノ上ツテ來ル、勞賃ノ休戰
ナシテ經濟安定部長ハ言フガ、食ヘ
ナケレバ上ルニ違ヒナシ、爭議ハ益々
起ツテ來ル、之ニ伴ツテ物資ハドン
ドン上ル、今日ノ新聞ナドヲ見マシテ
モ、價格ノ變更シテ居ルモノガアル、
然ルニ米ダケハ年一回ダケニ決メテ
置カレル積リカ、此ノ物價ニ常ニ逆行
シテ行クベキモノデハナイカト思フ
ガ、是ダケノコトヲ御返事願ヒマス

○工務政府委員 勞銀ノ點ニ付キマシ
テハ、只今御話ガアリマシタヤウニ、現
在ノ一般勞銀ガ百圓ト云フコトハ考ヘ
テ居リマセヌ、ソレ等ノ點ニ付キマシ
テハ、現在實際デレダケノ勞賃收入ガ
アルカト云フコトハ、國ノ統計局、
或ハ厚生省アタリデ正確ナ統計ガ出テ
居リマス、ソレニ從ツテヤツテ行カウ
ト考ヘテ居リマス、ソレカラ米ノ價格
ニ付キマシテハ、本年ノ三月ニ一ツノ
物價水準ヲ打立テタノデアリマスガ、
其ノ後ノ經濟情勢、殊ニ都市ニ於キマ
シテハ、御承知ノヤウニ食糧ノ配給ト
云フ事實ガ發生致シマシテ、其ノ爲ニ
必然的ニ勞銀ノ昂騰ヲ伴ツタノデアリ
マス、コンナ關係デ總テノ物價ニ惡
影響ヲ及ボシテ居リマス、併シ私共ガ
考ヘテ居リマスコトハ、「インフレ」ハ
絕對ニ阻止シナケレバナラナイ、斯ウ
云フ建前デヤツテ居ルノデアリマシ
テ、物價ガ將來ニ向ツテ段々上ツテ行
クトカ、或ハ凹凸ガヒドク行ハレルト
カ云フコトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデ
アリマシテ、今度米ノ價格ヲ創定致シ
マシタラ、其ノ價格デ總テ安定致シマ

スヤウニ全力ヲ注ギタイト考ヘテ居リ
マス
○北政委員 サウシマス、大藏大
臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ、物價水
準ノ目標價値ト公定ノ中間ダト言ハ
レタコトハ、是ハ物價局トシテハ御認
メニナラス、斯ウ云フコトニナリマス
カ、モウ一ツ今ノ百圓ハ、私ハ百圓ニ
決マルト言フノデアリマセヌ、唯本當
ノ勞働價值カラ見マシテ百圓ニナルコ
トニナル、斯ウ致シマス、其ノ八割
五分ト見テ居ラレルノカ、農民ハ普通
ノ給仕ヨリハ八割五分、斯ウ云フ見方
ナノカ、斯ウ云フ所デス

○工務政府委員 大藏大臣ガ議會デ御
答ヘニナリマシタ、今後ノ物價ハ公定
價格ト關トノ中間位デ安定スルダラウ
ト云フコトハ、是ハ正確ニ申シマス、
ドウ云フコトヲ意味セラレテ居リマス
ノカ、私共デハハツキリ判斷ガ出來ナ
イノデアリマス、中間ト申シマス、
其ノ二分ノ一ノポイントヲ真中ニ來ルノ
カ、或ハ價值ニ近イ所ニ來ルノカ、或
ハ公定價格ニ近イ所ニ來ルノカ、非
常ニ漠然トシテ居ルノデアリマス、ソ
レ最近ノヤウナ物資ノ窮乏時代ニ於
キマシテハ、物ノ價格ハ、ヤハリ生産
原價ニ近イ所ヲ公正ト見テ行カナケレ
バナラヌト私ハ存ジテ居リマス、物ノ
價格ヲ決定致シマス標準ニハ、需要供
給ノ關係ト生産原價ノ關係、此ノ二ツ
アル點デアリマシテ、物ノ數量ガ豐富
デアリマシテ、自由經濟ノ行ハレマス
時ニハ、其ノ兩者ハ大體同一ノ所マデ
鞏寄シテ來ルノデアリマス、併シ最
近ノヤウニ物資ガ非常ニ窮乏致シテ居
リマス、需給ノ關係ノミニ任セマス
ト、申上グルマデヒナク、非常ニ裕福
ナ所ニ物資ガ集マツテ來マシテ、國民全

スヤウニ全力ヲ注ギタイト考ヘテ居リ
マス
○北政委員 サウシマス、大藏大
臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ、物價水
準ノ目標價値ト公定ノ中間ダト言ハ
レタコトハ、是ハ物價局トシテハ御認
メニナラス、斯ウ云フコトニナリマス
カ、モウ一ツ今ノ百圓ハ、私ハ百圓ニ
決マルト言フノデアリマセヌ、唯本當
ノ勞働價值カラ見マシテ百圓ニナルコ
トニナル、斯ウ致シマス、其ノ八割
五分ト見テ居ラレルノカ、農民ハ普通
ノ給仕ヨリハ八割五分、斯ウ云フ見方
ナノカ、斯ウ云フ所デス

○工務政府委員 大藏大臣ガ議會デ御
答ヘニナリマシタ、今後ノ物價ハ公定
價格ト關トノ中間位デ安定スルダラウ
ト云フコトハ、是ハ正確ニ申シマス、
ドウ云フコトヲ意味セラレテ居リマス
ノカ、私共デハハツキリ判斷ガ出來ナ
イノデアリマス、中間ト申シマス、
其ノ二分ノ一ノポイントヲ真中ニ來ルノ
カ、或ハ價值ニ近イ所ニ來ルノカ、或
ハ公定價格ニ近イ所ニ來ルノカ、非
常ニ漠然トシテ居ルノデアリマス、ソ
レ最近ノヤウナ物資ノ窮乏時代ニ於
キマシテハ、物ノ價格ハ、ヤハリ生産
原價ニ近イ所ヲ公正ト見テ行カナケレ
バナラヌト私ハ存ジテ居リマス、物ノ
價格ヲ決定致シマス標準ニハ、需要供
給ノ關係ト生産原價ノ關係、此ノ二ツ
アル點デアリマシテ、物ノ數量ガ豐富
デアリマシテ、自由經濟ノ行ハレマス
時ニハ、其ノ兩者ハ大體同一ノ所マデ
鞏寄シテ來ルノデアリマス、併シ最
近ノヤウニ物資ガ非常ニ窮乏致シテ居
リマス、需給ノ關係ノミニ任セマス
ト、申上グルマデヒナク、非常ニ裕福
ナ所ニ物資ガ集マツテ來マシテ、國民全

スヤウニ全力ヲ注ギタイト考ヘテ居リ
マス
○北政委員 サウシマス、大藏大
臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ、物價水
準ノ目標價値ト公定ノ中間ダト言ハ
レタコトハ、是ハ物價局トシテハ御認
メニナラス、斯ウ云フコトニナリマス
カ、モウ一ツ今ノ百圓ハ、私ハ百圓ニ
決マルト言フノデアリマセヌ、唯本當
ノ勞働價值カラ見マシテ百圓ニナルコ
トニナル、斯ウ致シマス、其ノ八割
五分ト見テ居ラレルノカ、農民ハ普通
ノ給仕ヨリハ八割五分、斯ウ云フ見方
ナノカ、斯ウ云フ所デス

○工務政府委員 大藏大臣ガ議會デ御
答ヘニナリマシタ、今後ノ物價ハ公定
價格ト關トノ中間位デ安定スルダラウ
ト云フコトハ、是ハ正確ニ申シマス、
ドウ云フコトヲ意味セラレテ居リマス
ノカ、私共デハハツキリ判斷ガ出來ナ
イノデアリマス、中間ト申シマス、
其ノ二分ノ一ノポイントヲ真中ニ來ルノ
カ、或ハ價值ニ近イ所ニ來ルノカ、或
ハ公定價格ニ近イ所ニ來ルノカ、非
常ニ漠然トシテ居ルノデアリマス、ソ
レ最近ノヤウナ物資ノ窮乏時代ニ於
キマシテハ、物ノ價格ハ、ヤハリ生産
原價ニ近イ所ヲ公正ト見テ行カナケレ
バナラヌト私ハ存ジテ居リマス、物ノ
價格ヲ決定致シマス標準ニハ、需要供
給ノ關係ト生産原價ノ關係、此ノ二ツ
アル點デアリマシテ、物ノ數量ガ豐富
デアリマシテ、自由經濟ノ行ハレマス
時ニハ、其ノ兩者ハ大體同一ノ所マデ
鞏寄シテ來ルノデアリマス、併シ最
近ノヤウニ物資ガ非常ニ窮乏致シテ居
リマス、需給ノ關係ノミニ任セマス
ト、申上グルマデヒナク、非常ニ裕福
ナ所ニ物資ガ集マツテ來マシテ、國民全

スヤウニ全力ヲ注ギタイト考ヘテ居リ
マス
○北政委員 サウシマス、大藏大
臣ガ豫算委員會ニ於キマシテ、物價水
準ノ目標價値ト公定ノ中間ダト言ハ
レタコトハ、是ハ物價局トシテハ御認
メニナラス、斯ウ云フコトニナリマス
カ、モウ一ツ今ノ百圓ハ、私ハ百圓ニ
決マルト言フノデアリマセヌ、唯本當
ノ勞働價值カラ見マシテ百圓ニナルコ
トニナル、斯ウ致シマス、其ノ八割
五分ト見テ居ラレルノカ、農民ハ普通
ノ給仕ヨリハ八割五分、斯ウ云フ見方
ナノカ、斯ウ云フ所デス

○工務政府委員 大藏大臣ガ議會デ御
答ヘニナリマシタ、今後ノ物價ハ公定
價格ト關トノ中間位デ安定スルダラウ
ト云フコトハ、是ハ正確ニ申シマス、
ドウ云フコトヲ意味セラレテ居リマス
ノカ、私共デハハツキリ判斷ガ出來ナ
イノデアリマス、中間ト申シマス、
其ノ二分ノ一ノポイントヲ真中ニ來ルノ
カ、或ハ價值ニ近イ所ニ來ルノカ、或
ハ公定價格ニ近イ所ニ來ルノカ、非
常ニ漠然トシテ居ルノデアリマス、ソ
レ最近ノヤウナ物資ノ窮乏時代ニ於
キマシテハ、物ノ價格ハ、ヤハリ生産
原價ニ近イ所ヲ公正ト見テ行カナケレ
バナラヌト私ハ存ジテ居リマス、物ノ
價格ヲ決定致シマス標準ニハ、需要供
給ノ關係ト生産原價ノ關係、此ノ二ツ
アル點デアリマシテ、物ノ數量ガ豐富
デアリマシテ、自由經濟ノ行ハレマス
時ニハ、其ノ兩者ハ大體同一ノ所マデ
鞏寄シテ來ルノデアリマス、併シ最
近ノヤウニ物資ガ非常ニ窮乏致シテ居
リマス、需給ノ關係ノミニ任セマス
ト、申上グルマデヒナク、非常ニ裕福
ナ所ニ物資ガ集マツテ來マシテ、國民全

證ハ非常ナ苦難ヲ嘗メナケレバナラ
ス、斯ウ云フコトニナリマスノデ、統
制ノ基礎トナリマス價格ニ付キマシテ
ハ、生産原價カラ割出シタモノデナク
テハナラヌト私ハ存ジテ居リマス、勞
働賃銀ノ問題デアリマスガ、是ハ先刻
申上ゲマシタヤウニ、現在モウ既ニ發
生シテ居ル勞銀ノ値上リハ、是ハ認メ
テ行カナケレバナリマセヌノデ、其ノ
既成事實ノ上ニ立ツテ農村勞銀モ決メ
テ行キタイ、斯ウ云フ感ジヲ持ツテ居
リマス、唯給仕サンノ賃銀ト農村ノ賃
銀トヲ玆デ、ドウ優劣ガアルカト云フ
コトヲ、比較シテ考慮スルノハ難カ
シイ問題デナイカト思ツテ居リマス、
私ト致シマシテハ、モウ既ニ發生致シ
テ居リマス賃銀ノ既成事實ヲ根據トシ
テヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リ
マス

○島屋委員長代理 本日ハ之ヲ以テ散
會致シマス、明日ハ午前十時カラ米倉
君ノ御質問ヲ御繼續願ヒマス
午前零時三十四分散會

昭和二十一年九月十九日印刷

昭和二十一年九月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局